處女の友

3巻9号

第三巻　九月　第九號

處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

絞り染用染料として大好評

經濟的家庭染料の大王

燈台印

家庭用改良染粉

みやこ染

●みやこ染は　御婦人御子供樣方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です

●みやこ染は　他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です

●みやこ染は　色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

色合（紺、黒、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萠黄、納戸、焦茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、

定價（小瓶（半反染）金二十五錢　大瓶（一反染）金四十五錢（染法は現品に詳しく書いてあります）

◇賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり

◇御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

御申越次第染色標本に說明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）

東京小舟町

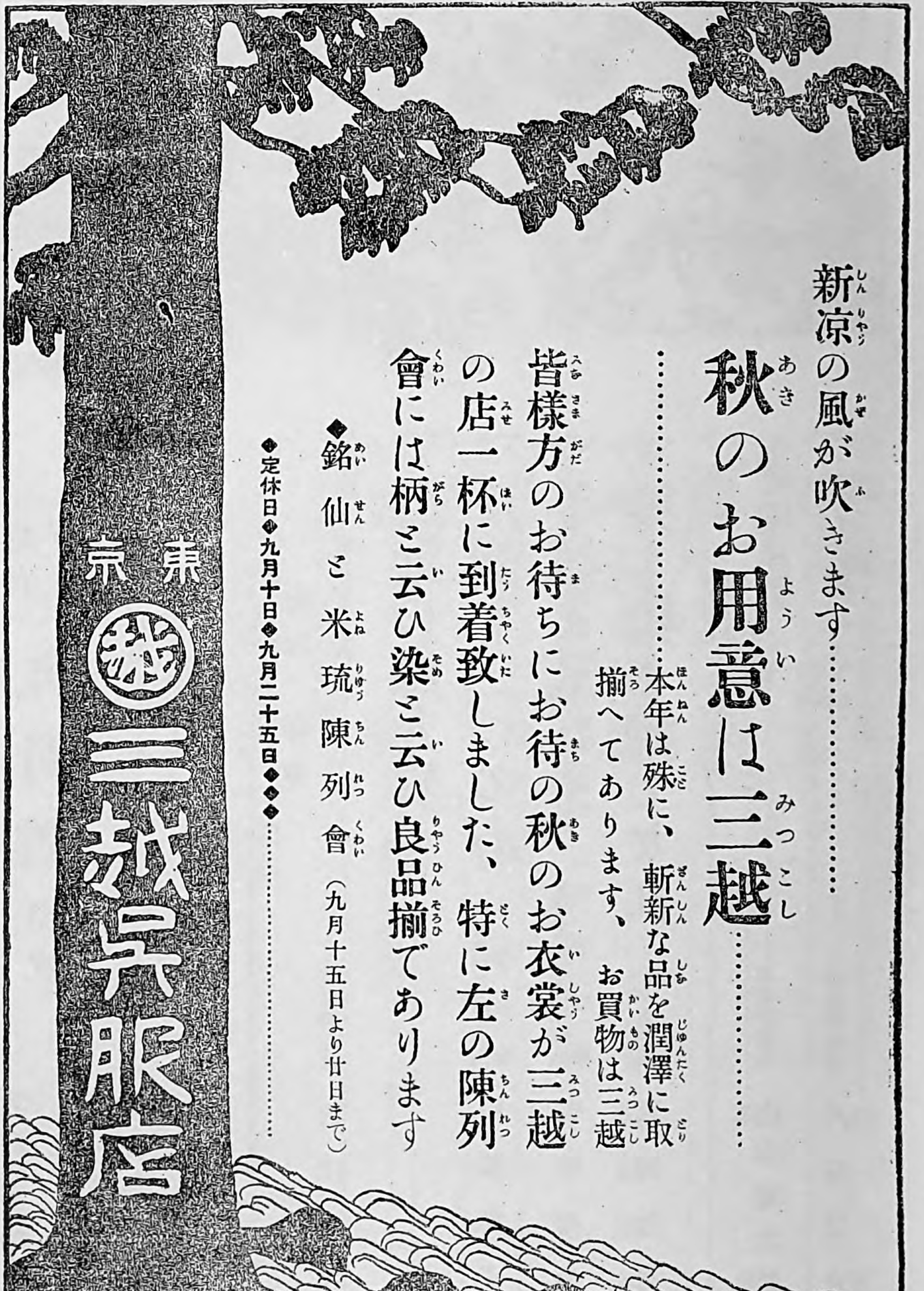
かつらや

電話浪花　長一九五八番　二九五八番

振替東京三九五番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友

九月號 目次

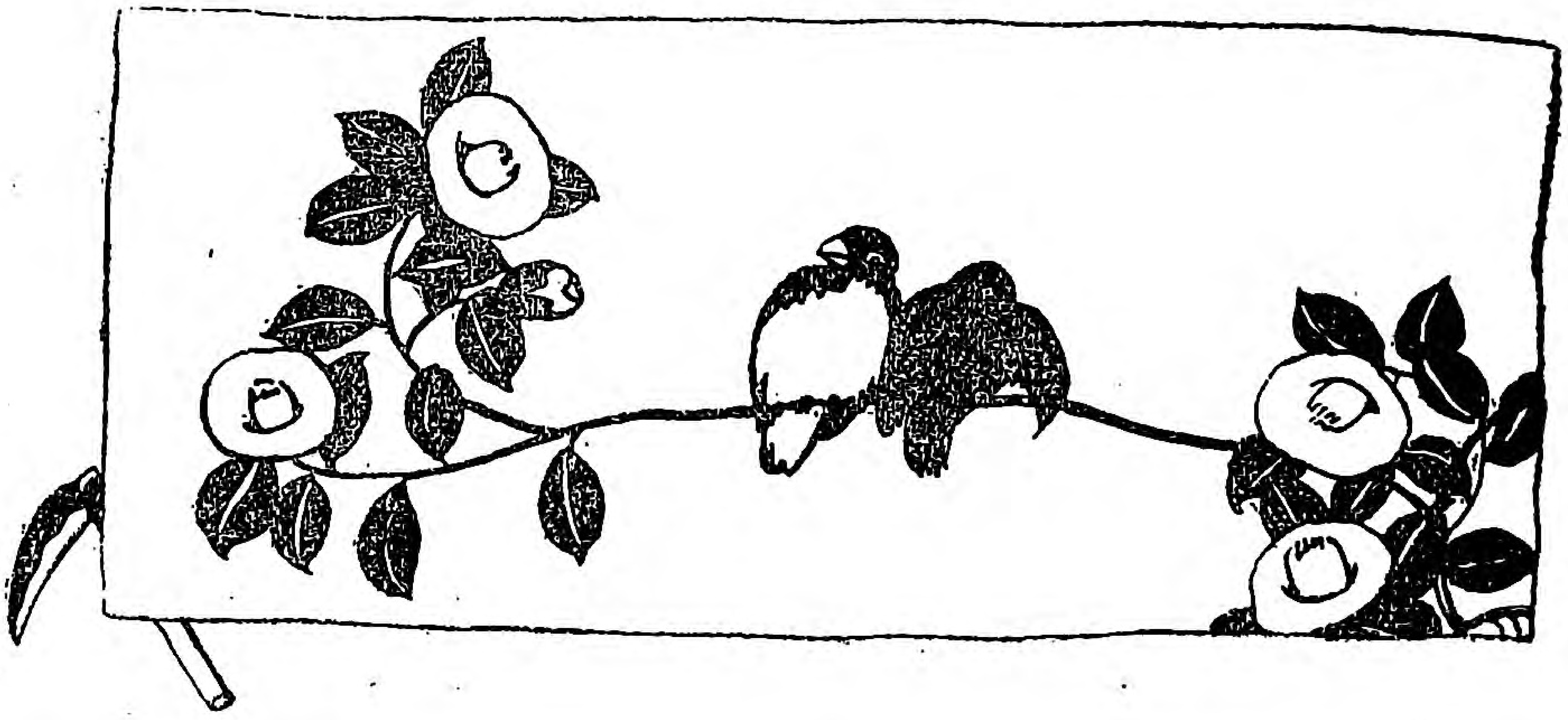
大正九年九月一日發行

○表紙　勞働の神聖 …… 田代紫光筆
○口繪 （美しき敬老のつどゐ / 賴母しき地方婦人）

◉記事◉

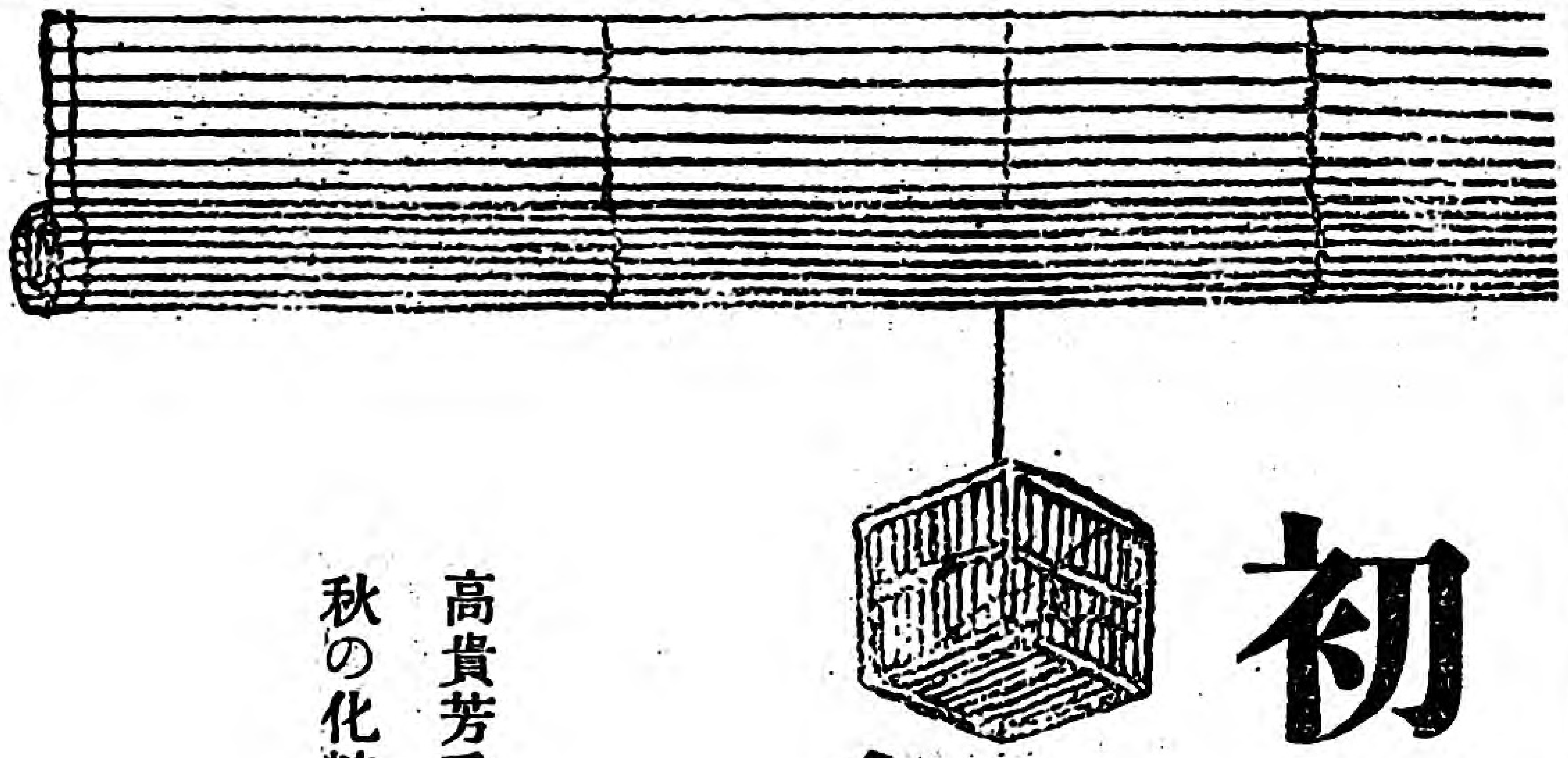
▽卷頭（一家和合の妙薬）…… 一
▽最近の婦人界（社説）…… 二
▽反對な二つの心 …… 山脇高等女學校長 本會理事 山脇房子 …… 五
▽手拭を冠れ …… 女子醫學專門學校長 本會理事 吉岡彌生 …… 七
▽染めて染らぬ娘となれ …… 本會理事 天野藤男 …… 一〇
▽着物の模樣と其着方 …… 一五
▽修養日記 …… 本會評議員 山本瀧之助 …… 一八
▽處女會めぐり …… 本會評議員 天野雉彦 …… 二三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽都に憧れて（その十二）……白雲…二五
▽「都に憧れて」が全國を廻ります……二九
▽小説 友情（その二）……深緑…三一
▽家事便覧……三一
▽新講談 涙の黒髪……本會評議員 細川風谷…三六
▽福島縣處女會設置標準……三六
▽皆さんからのお便り……四〇
▽相馬めぐり……四三
▽床しき一家（孝子節婦訪問記）……四五
▽田園生活の日記……本會評議員 吉川民子…四八
▽全國處女會一覽（その八）……五〇
▽處女文壇……五二
▽處女歌壇……五三
▽處女俳壇……五三
▽誌友くらぶ……五五
▽編輯だより……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



初秋がきた

虫の音涼し

今はお化粧に一番大切な時

秋の日ヤケ肌アレを防ぎ―皮膚を白色化する

ホーカー液

定價	
大瓶	壹圓十五錢
中瓶	五十八錢
小瓶	二十八錢
送料	
内地	六錢
滿鮮	四十一錢

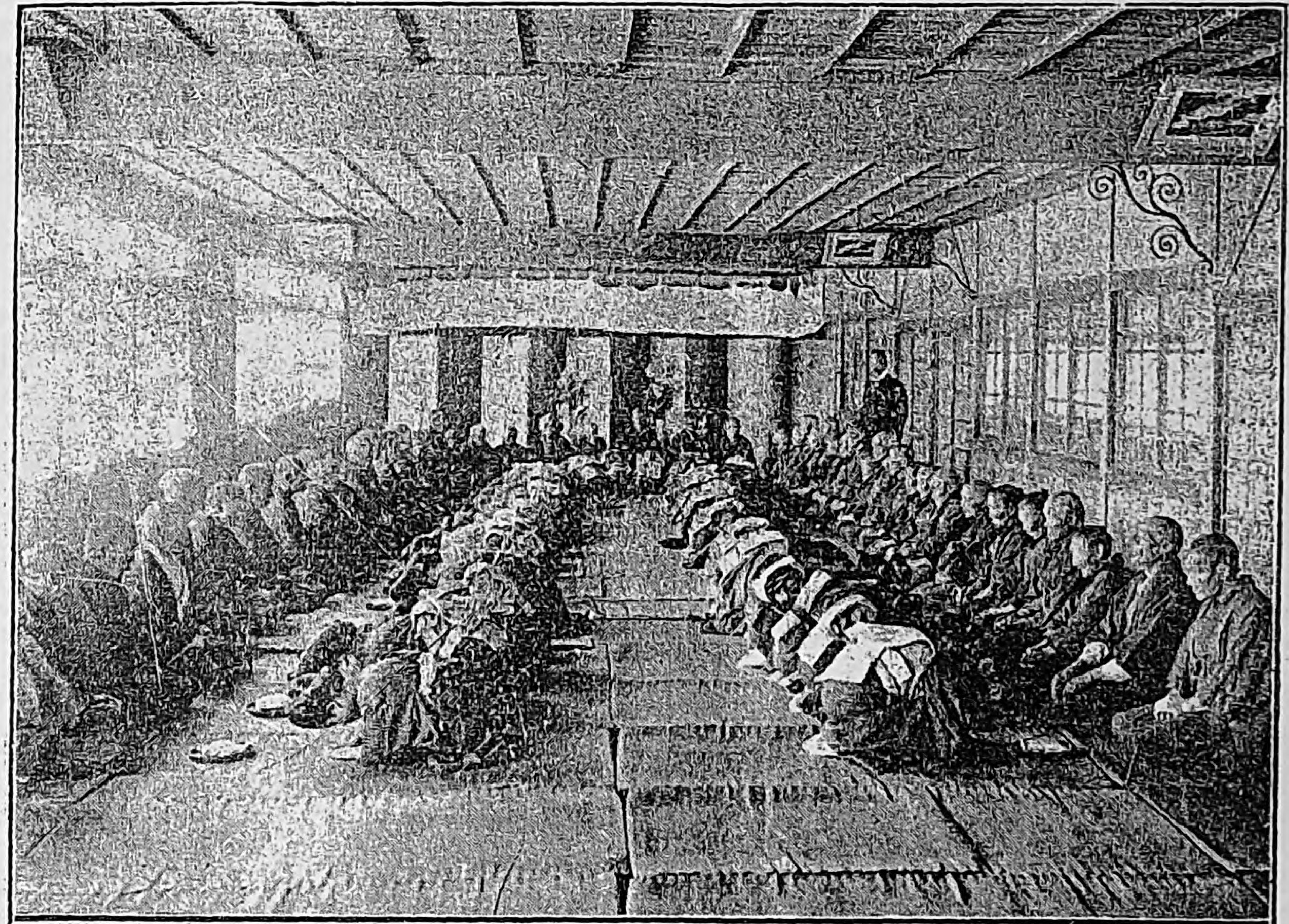
高貴芳香入
秋の化粧料

誇らない化粧品を澤山御使用になるよりも最新のホーカー液をおつけなさいホーカー液を常用すれば始終色白く若々しい顔をしてゐられます

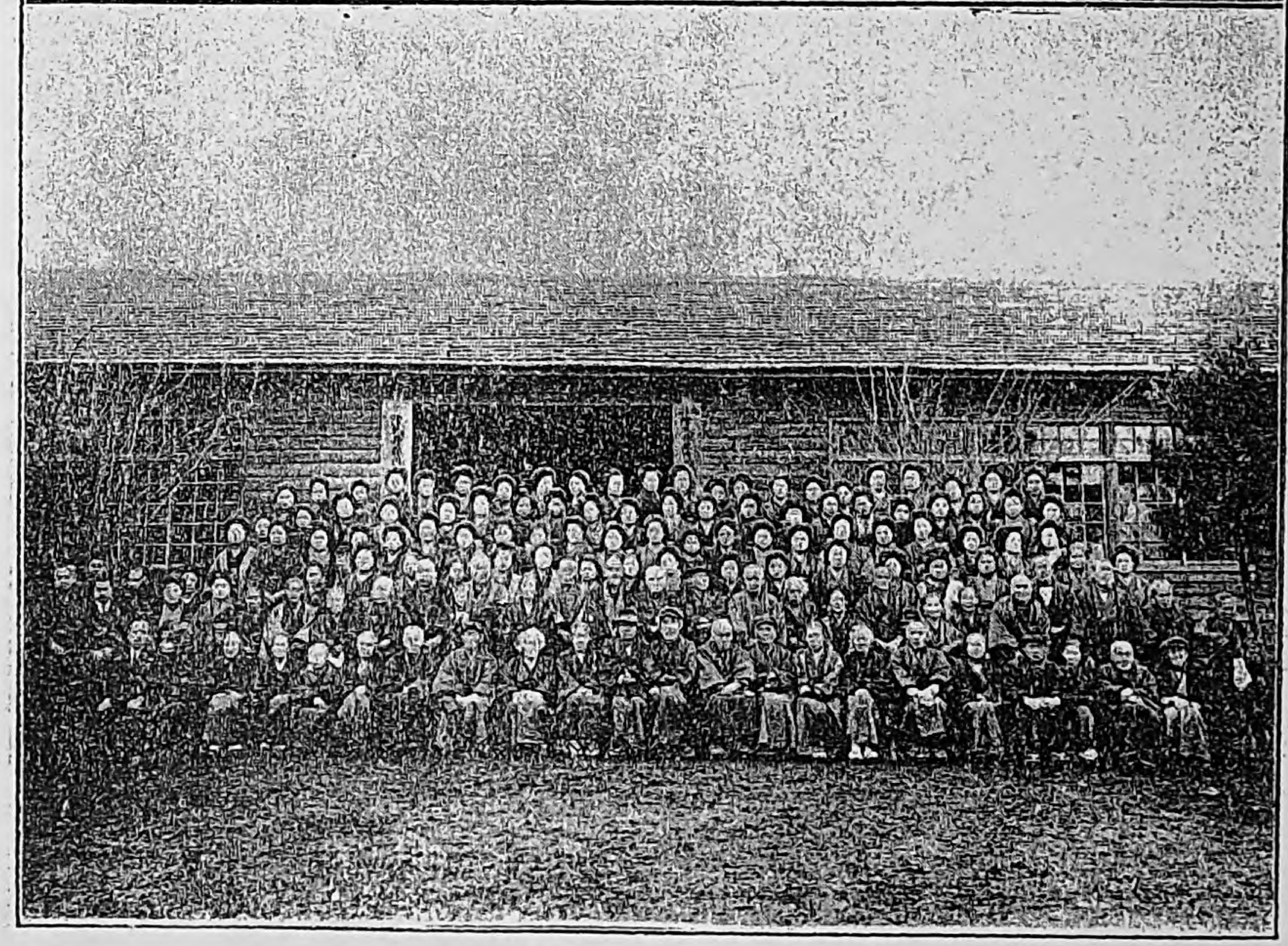
東京神田和泉橋
ホーカー化粧品本舗
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、二四五
振替東京一一五六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

老を尙ふたふときつどゐ



三重縣多氣郡西外城田村處女會の敬老會

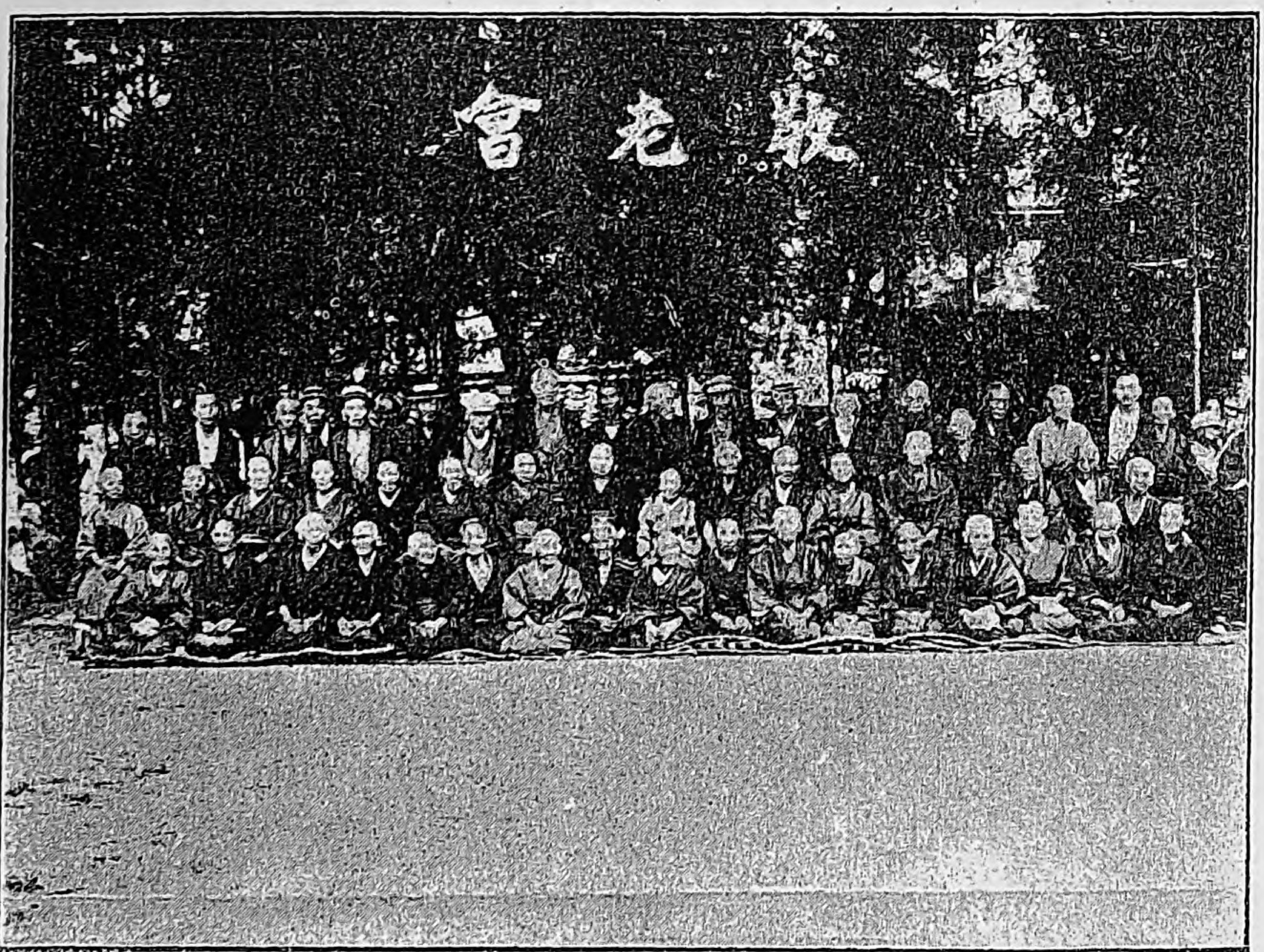


神奈川縣津久井郡内郷村處女會の敬老會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

頼母しき地方の婦人

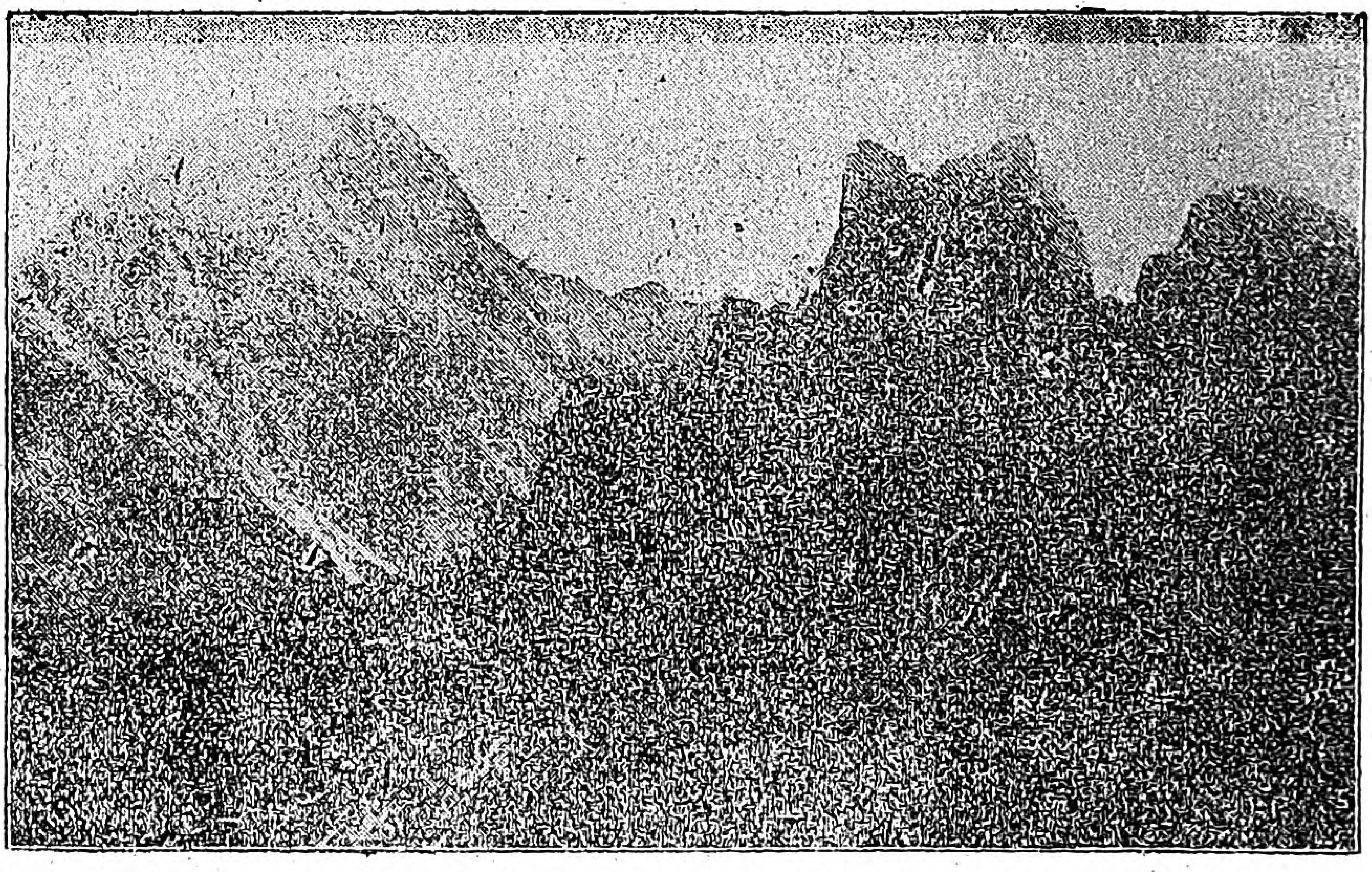


和歌山縣伊都郡大谷村敬老會

中列向つて右より九人目會長 草田ツル氏
其左 副會長 恩地クマエ氏

福島縣東白川郡石井村處女會遠足運動

背景は山本不動尊境内 中央 戸井田會長



父母の恩は山よりも高く海よりも深し

伊香保風穴及相馬ヶ岳　（堀越さく子寄）

家内繁昌の妙薬

一、正直　篤實と合せて百匁

一、忠孝　身を粉にして百匁

一、儉約　しつそにして一斤

一、五常　仁義禮智信とよく〳〵より分け五兩

一、堪忍　五兩目

右の薬調合に念入、毎日朝起して慈悲の袋に入れあしき友を除き水一生を入れて用ふべし。

○禁物　大酒、大慾、其他差合なし。

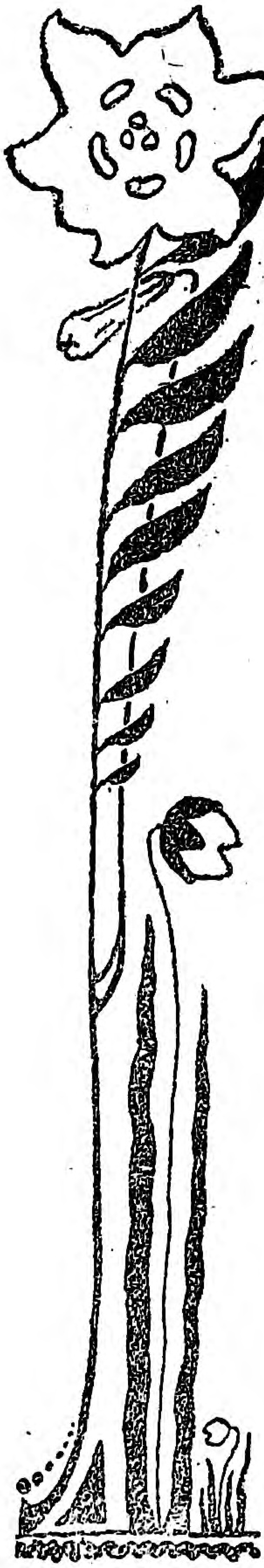
驕奢たるをよく〳〵すまじ費を省き用ゆ。

是延壽長久の妙藥なり用ひて效能を知るべし。

（心學圖繪）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

社説



最近の婦人界

（一）處女會と女教員

本年十月帝國教育會主催の許に開かれる全國女教員大會に對し、文部省が「女教員に處女會の愛導を托するの件」を諮問したといふことは我處女會中央部の記憶すべきことである。

今や全國青年團は各地に普及し、約二萬、約三百萬人の會員を包容し略々組織も内容も完成しかけたのであるが、其の此に至つたのは、小學校校長及教員諸君の努力に俟つものが少くないことは、いふまでもない。

處女會婦人會に到つては、青年會に比して、歴史が新らしいのみでなく、婦人會は男子の青年會に比して一層いろ〳〵の事情も存する。旁々是非とも女教員方のお世話を願はねばならぬ。小學校兒童の教授のみでさへお骨であるのに、今又處女會のお世話を願はなくてはならぬといふことは、心身共に御辛勞のことゝ思ふが、是も愛する姉妹たちの爲否廣い意味で御國の爲に尚一層の盡力あらんことを切に希望する次第である。

尚女教員方の外に、地主、村長、校長、教員方の夫

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人令孃などの御骨折を願はねばならぬことも、申すまでもないことでございます。

(二) 女學生の田園生活

東京府立第一高等女學校及第五高等女學校は夏休みを利用して、千葉町及信州の小諸に共同自炊生活を行れたといふことである。女學生の避暑的旅行は別に珍らしいことはないが、兩校共に共同生活しつゝ附近農村及工場の狀態を調査して、勤勞生活の實際を見聞して、心身修養の活ける資料たらしめたといふことは、誠に欣ばしいことで、我等の多年皷吹し來れることも、實に此に存したのである。

七月二十六日の讀賣新聞には、第五高女生三十名が涼しい自炊生活と題し、田園と蠶業の研究中の報導を掲げてゐる。其の一節に曰く、

「滯在中は自炊生活を試み、胡瓜や茄子はどんな風に生るかを知らぬ、東京の女生が、手づから胡瓜をもぎ取つて來るのであるから其の面白さは非常のものであつた。日課としては、午前は附近の製絲場で工女の糸を取る處、蠶種會社で蠶種を製造する處や洋桃の罐詰の製造所で若い田舍の女達が桃の皮をむく處なんぞをみて、午後四時間宛は小諸町純水館丸純製糸場で屑繭から眞綿を製造する實際を見るので、都會の女生としては非常に興味があるやうだ」云々

更に七月三十日の讀賣新聞には、夏休みを利用して共同生活を樂しむ府立第一高女の生徒達と題して、

「都會の生徒等が常食してゐる米や西瓜茄子南瓜等の蔬菜類の如何にして收穫するやを知らぬものが多い。此は將來家庭の主婦として立つ人々の最も研究して置く必要のある事にて、此の方面の知識を涵養せしむる爲田園の實際に觸れ、尙自炊生活を行はしめ各自の立場を知らしむ」云々

申し合せたやうに、兩校の方針が一致してゐるのも面白いと思ふ。

都會と農村との調和連絡は、國家の發展を圖る上に最も必要なる一種の政策である。女學生と地方婦人及工女との連絡もその一方面である。

(三) 失業工女と農村

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

財界の動搖の打擊を受けて、工場を閉鎖する資本家も少くない。政府では失職者の善後策を講ずるに忙しい。然しながら我邦には、純粹の勞働者は少い。多くは地方青年男女の出稼的勞働である、殊に女工に於てその然るを見る。是は一面に於て非常に結構なことゝ思ふ。即ち差しあたり今日の樣な場合、若し職業を失つた女工諸君は、生れ故鄕に歸ることである。土地は狹からう、嫂に遠慮もあらうが、まだ〳〵田舍の天地は廣い。

一方地方は此等の同情すべき姉妹を温い心持を以て迎へ、都市の生活を聞いて參考とすると共に、相携へて鄕土の發展を圖るべきである。中には、都に憧れて家出し、離鄕した不心得の女もあらうが、其は今攻めまい。疲れて歸つて來た姉妹である、寧ろ慰めて心身の休養を圖るべきである。

殊に處女會は此等の姉妹たちに同情し、一心同體とならねばならぬ。

一方に故里に歸る工女たちは、謙遜な心を以て故里の人たちと握手し、苟且にも傲慢の態度をもつたり、又都會の生活を誇張してお話したりしてはならぬ。公平の立場から都會の生活を物語り、野の娘たちに對し、野の幸を一層深く感ずるやうに導かねばならぬ。

(四) 國勢調査と處女會

來る十月一日を以て行はるゝ國勢調査は、國民の人口、男女數、所帶、家族等についての動靜を調査する國家的事業である。政府は固より府縣郡市町村に於ても之に就て着々準備を爲しつゝあることは、諸子の旣に知らるゝことであるが、此際全國の青年團及處女會も政府の趣旨を體し、市町村當局とも協議してこのことに應分の盡力あらんことを切に望むものである。青年は將來の戶主、處女は未來の配偶者である、家長を補佐し、當局を援助して調査の完成に寄與することは、正に平和的國家奉仕の一端である。

尙此の際處女會に於ては、集會等を利用して家族、戶主、戶籍、所帶等に關する研究を爲さんことを望む。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

反對な二つの心

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

一日の中には晝と夜とがあり、一年の中には暑い時と寒い時とがあります。その外、固いものと柔かなもの、高いものと低いもの、速いものと遲いもの、美しいものと醜いものといふやうに、反對の二つの物がどこにでもあります。そして、低いものが一方にあるから高いものが引立つて見え、醜いものが一方にあるから美しいものが一層美しく見えるので、此の反對の二つがあるために、世の中の物は競爭してだん〳〵進むのであります。

○一つは良心一つは惡魔

人の心の中にも、やはり反對の二つのものがあります。一つは良心といひ、他の一つは惡魔と申します。良心の方は、どうか自分の主人を良いお人にしたいと思つて、一生懸命つとめまするし、惡魔の方は、どうか良心をおさへつけて、自分の思ふ通りに主人を弄そばうとするのであります。

良心が父母には從順に仕へなければなりませんよと申しますと、惡魔は側からすぐ口を出して、そんなに父母々々といはないでもよい、チツとは自分の好きなやうにしなければと申します。良心が、今日は阿母樣の御氣分がすぐれないやうだから、拭掃除や其の他あなたの手にあふ事はお手傳なさいと申ますと、惡魔はすぐ又、拭掃除は一日ぐらゐしなくたつてよいでせう暑い時に働くのはほんとうにイヤですからと、良心の言に反對いたします。お友達に、明日は××へ遊びに行らつしやいませんかと誘はれると、惡魔の方はすぐ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

贊成して、面白さうな處ならどこへでも行らつしやいと申しますが、良心は一應阿母樣にお許しを得た上になさいと止めます。良心はいつでも、眞面目になさい勉強なさい、暑いからとてだらしない風などしてはいけませんよと忠告しまするし、惡魔の方は、そんなに窮屈に考へないでもよい、今日のやうな暑い日に勉強しないでも、涼しくなつてから二倍せい出せば同じことだ、何でも世の中は氣樂に面白く暮らさなけりや損だといふ風に申します。

○惡魔が勝てば大變

斯うして人の心の中には、良心と惡魔とが常に喧嘩して居るのでありますっ そして、もし惡魔が勝つて良心が口をきかなくなつてしまひましたら、其の人は結局墮落の淵へ引き入れられて、一生涯浮ぶ瀬がないやうになりますし、良心が惡魔を征服してしまひましたら、其の人は世間からほめられ、愛せられ、だん／＼幸福の身になつて參ります。

惡魔は、ほんの目の前だけ其の人に都合のよいやうな事を言つて、將來大變な不幸になる事など少しも考へませんが、良心は將來の事を重く考へて、今差當つてはつらくても、後日の爲めになるやう／＼にと勸めるのです。ですから、人は誰でも注意して、自分の心の中で惡魔があんまり巾をきかせないやう、良心を勝たせるやうにしなければなりません。

○外の敵に勝つより難しい

昔からの偉い人、感心な人は、皆若い時から自分の心の中の惡魔をおさへつけて、良心のいふ通りにしてきた人であります。人にそしられ、きらはれ、世の物笑ひになつた人は、皆惡魔のいふことを聞いて良心をおさへつけてきた人であります。古人が『己れに克つは敵に勝つよりも難し』と申して居りますが、この『己れ』といふのは心の中の惡魔のことであります。自分の心の中の惡魔に勝つのは、外に居る敵に勝つよりもむづかしいといふ意味で、全く其の通りであります。ですから、心の中の惡魔に勝つ人であれば、何をしても人に負けるやうな事はありませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女は手拭を冠れ

本會理事　吉岡彌生

△新陳代謝の力

我々が日常吸收する營養は身體の各機關によつて體力の養ひとなり體内に不要のものは老廢物となつて堪えず排泄さるゝのであります、たとへば尿、大便、呼氣となつて不潔なものは成るたけ外へ出さう〳〵とする作用を營むのです。そして皮膚からも尿と同じやうな性質のものを斷えず排泄しますゆゑ皮膚の新陳代謝の力を完全に行はするには清潔にするといふ事が最大切な事であります。殊に夏は汗の分泌が非常に烈しく始終脂じんで不潔になり勝ちで、其を打ち捨てゝ置きますと腫物を生じ皮膚の排泄作用をさまたげます。

△皮膚の清潔

これ程大切な皮膚の働きを充分にするには、どうしても皮膚を清潔にすると云ふ事を、心がけねばなりません、毎朝簡單に顏を洗ふといふばかりでなく、全身を清潔に拭かなければなりません。入浴は最も健康上必要な事で毎日出來れば結構ですが種々の事情で實行出來ぬ人が御座いませうから一般の人に勵行せよとは申されませんがなるべく毎朝起床の後と毎夜臥床の前に必ず身體全體をぬぐふ事をすゝめ度いのです、それが冷水であれば尚結構です。

△原因と結果の誤り

よく世間の人が腫物を療治すると腎臟に故障を生ずると申しますが、それは原因と結果をとり違へて居ますので腫物が出來たために皮膚の排泄作用をさまたげ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

られて、其爲に腎臟が餘分の骨折をするといふ事になり、役目不相應な仕事をした結果腎臟に炎症を發して、むくみが出るわけであります。

△肌着の注意

皮膚を強くしその作用を完全にする方法の一つとして肌に着る物を清潔にするといふ事は、最大切な事で、皮膚から分泌する老廢物を木綿の肌着なれば吸收して健康上にはよろしいのです。そうして不潔物を吸ひ取つたまゝの肌着を着て居ますと皮膚の排泄作用がにぶくなつて前に申したやうな腫物のために腎臟の炎症を起すことになります。それて肌着はなるべく皮膚の老廢物を吸收し易いやうに、又その汚れを度々洗濯出來るやうに木綿物を用ひるが適當であります。

野の幸

働きたはりて谷間に飲めばあふろゝ泉のつめたいかなや

△毛織物の肌着

この方面から考へますと東京の一部分の人がする様な暖いからと言つて毛織ものを肌につける事は、衛生上惡い事で、毛織物は、老廢物を吸收する力がなく反つてはぢいてしまひますし又皮膚の弱い人などは毛織ものでは皮膚を刺激してそのため腫物が出來る事もあります。そんな理由で肌着は皮膚の衛生上最注意しなければならない事ですから清潔にして夏なれば隔日に冬でも一週間目位にとりかへて洗濯する事を怠つてはなりません。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

△髪の衛生

頭髪は黴菌が附き易く、長い毛で蒸されて他の處より一層分泌排泄の作用が烈しく最も不潔なものであります。顔や手足でさへ毎日洗はなければなりませんのにその不潔になり勝ちな頭髪を一ヶ月も打ち捨てゝ置くといふ事は甚だ不衛生であります、尤も洗ふのに不便なためでありませうが少くとも一ヶ月に三回位は髪を洗つて清潔を心がけますと毛髪の成長を非常に助けます。

△なるべく輕く

毎日頭髪の手入をする事は必要で日本髪のやうに幾日か結んだまゝにして置きますと入毛と自分の毛で蒸されて解きますと非常に臭氣を發します、臭氣を發するといふ事がすでに黴菌が發生して居ますので誠に衛生上害が多いのであります、何も入れず輕くして置くのが衛生上の理想でありますが美貌といふ點からも考へなければなりませんから各々に似合ふ程度でなるべく輕くして入毛も小さいものにするやうに考へなければなりません。

△脂をつけよ

脂は頭を冷し毛髪のためによろしいのですからなるべくつける方がいゝのです。そして脂をつけた後はきれいにすき櫛ですきとるやうにしないと垢が附き易く反つて害になります。又脂をつけた後に香氣あるものを頭髪の中の方につけ事は最も好い事です。

△手拭をかぶれ

野で働くに手拭をかぶるのは日よけのためださうですが頭髪の衛生上にも非常によい事で、臺所で働く時も室内の掃除をする時にもなるべく手拭をかぶつて氣持よく働く習慣を作るやうに心がけねばなりません。田舍らしいと言つて手拭をかぶるのを嫌がる人は眞實に衛生といふ事を考へない人であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

染めて染らぬ娘となれ

天野藤男

(一) とつて十八

優等で女學校を卒業したといふ妹の千代子が兩親の許しを得て、東京見物かた／＼上京した、千代子はとつて十八、「いふこときかなくて困る、我まゝで」とお袋の手紙にはあるが、大都會の娘に比べると、初生だかわいらしい。

「よく來たね、賑やかだらう」

でも考へると、大きくなつたものだ。ツイ先頃まで鼻水垂らしてゐたが、往來で轉んで大聲あげて泣いて居たが、お湯に入るとき着物を座敷の眞中に脫いで飛んでいつたつたが、其が、いつの間にか部屋の隈へ小さく着物を脫ぐことも覺えた。ハンケチくはへて嬌姿をつくることも覺えた。この頃はちよい／＼と鏡台に向つて低い鼻をつまんでみせる。時々頰杖ついて何か考へ込んでゐる。何か心配があるのときいても「いゝえ」と頭をふる、その癖思つたこと言ひあてられると、眞赤な顔をしてうつむいてしまふ。

あゝ妹は大きくなつた。

(二) こわい光つた目

「けふは銀座から淺草の方へつれていつてあげやう」

お袋へ口返答しようとも、我まゝいはうとも、矢つ張小供だ、小娘だ。人ごみの中に入ると、きよと／＼として鳩の樣な目をしてあたりをみわはしながら、しつかと私の手を握る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

満員の電車へ乗つた。

「ネこれが白木屋だよ、立派だらう」

「えゝ」

千代子は、またゝきもせずに窓から表をみつめてゐる。私はヂッと彼女の横顔をみつめた。紙でいへばまつ白の紙だ。彼女の目に入るものは、みな美しいのだ彼女の前には悪人はない、自分に深切にしてくれる人はみな善人と思ふ。あの鳩の様な瞳には、悪人が映らぬのだ。悪人を見破るべくあまりに純だ。

「今此處で彼女を置いて私が下りてしまつたらどうなるだらう」と考へてみた。「お兄さんがゐない」と泣き出さう。「もしお娘さんどこへいらつしやる」「もしあなた此方へいらつしやい」深切さうな目が寄る。彼女には、みんな善人に見える。恐ろしい光つた目の底がわからぬのだ。悪人は彼女を伴れてゆく……おゝ思つてもこわい。

「へーイ雷門でございます、お忘れ物のないやうにチン〳〵」

「さあ千代子下りるのだよ。」

（二）ちやだあれ。

「あのねお兄さん、今私しこわかつてよ、ほんとうに」

「どうして」

「あの私の側にゐた人ね、私の手をつゝくのよ、わたしヂッとしてゐると、尚するでせう、私しこわくつてほんとうにどうしようと思ひましたわ、ごらんなさい、胸がドキ〳〵してゐるでせう」

私の手をとつて自分の胸にあてる。

「千代ちやんが美しいものだから誰かいたづらしたのさ」

「だつてこわかつたもの」

「けれど千代子はうれしかつたらう」

「どうして？」

「どうしてつて、千代ちやん位の年頃には、誰か何んとかいつてくれさうに思ふもの、こわいけれどうれしいものさネ、當つたらう」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「アラお兄さんソンなこと」

「ソンなことつて、ネ、當つたらう」

「…………」

「それはさうと千代子、お前は戀をしたことがあるかね、男を戀しいと思つたことがあるかね、いつてごらん」

「お兄さんどうしてそんなことを」

「どうしてつて、只聞いてみるのよ、今までにこの人はなつかしい慕はしいと思つた人があるかね、ない？ある？」

「だつてそんなことを」

「ソンなことつて、大事なことだよ」

「いやお兄さん今日は妙なことばつか」

「さう〳〵ぢやあネ、お前をほんとうに心から戀してゐる人がゐるが、お前は誰か知つてゐるかね、この男ならお前が心をゆるしてもいゝ、結婚してもいゝの其はいゝ人だよ、深切な」

妹は默つてゐる。

「默つてゐてはわからんよ、知らなければ知らんといふさ、千代ちやんきゝたい？」

「だつてソンなこと？」

「ソンなことぢやないお前の運命の岐れるといふ位大事なことだよ、聞きたい、聞きたくない？」

「あらお兄さんこゝどこ？」

「どこぢやない、お前のことだ、肝心なことだ。」

「…………」

「をかしいね、五年女學校で習つて、返辭が出來ないなんか、をかしいね、聞きたければ聞きたい、聞きたくなければ聞きたくないつてお言ひなさい、それは〳〵深切な人で、お前を心底から愛してゐるよ」

妹はハンケチくはへながら

「ぢやだーあれ――」

「其はこのお兄さんだ」

妹よ、ほんとうだよ、お前をほんとうに、愛するものは、この廣い世の中に親を除いては、この兄さんだけよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(四) 聞かしておくれ

「ね賑やかだらう、是が有名な觀音堂だよ、一寸八分の御神體だといふがどうかね」

「……………」

「お腹が空いたらう、千代ちやん」

「いんえ」

「さあ是からどこへゆこう」

「……………」

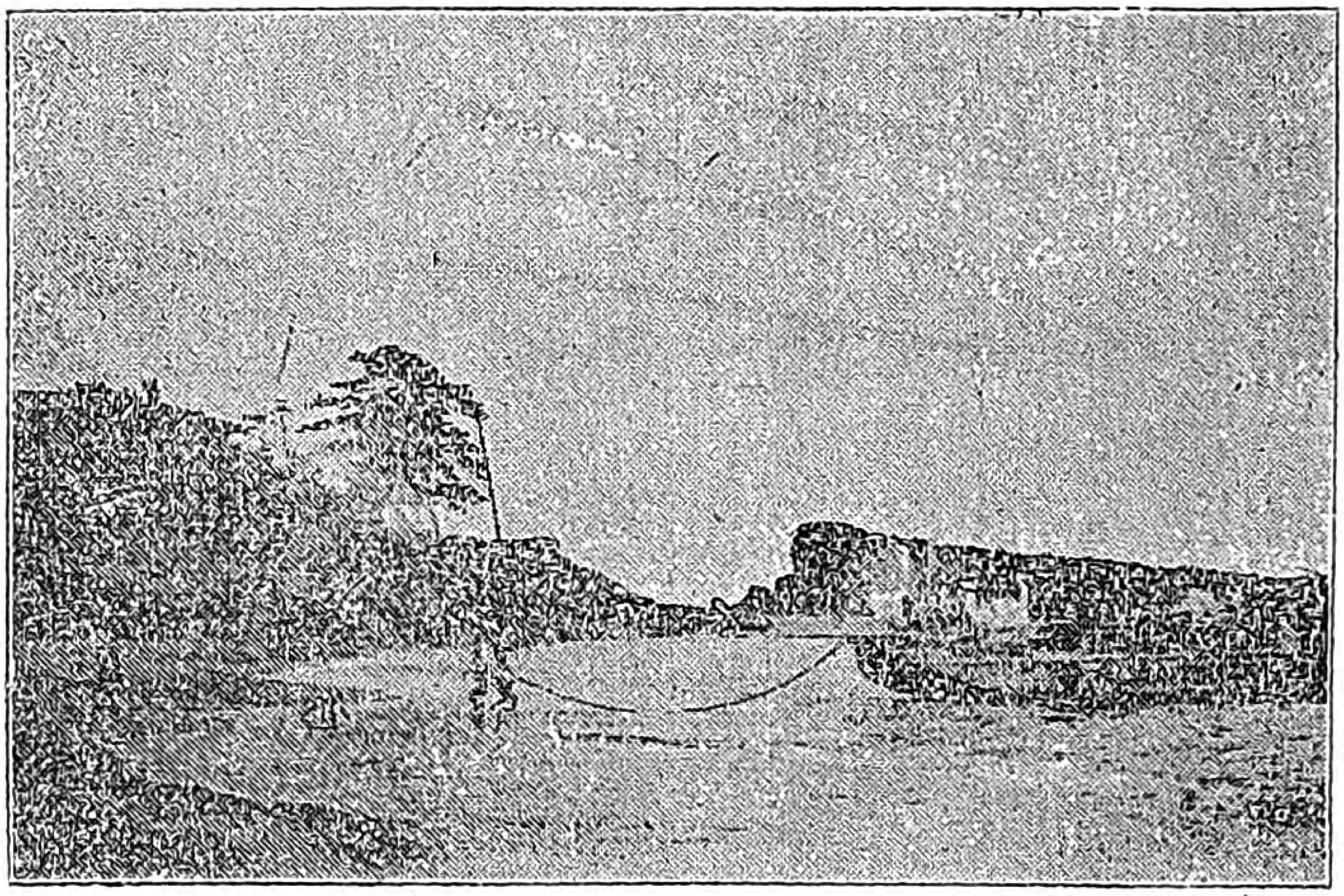
「上野へゆこうか、それとも吉原へゆこうか」

千代子は下を向いて笑つた。

「お前吉原を知つてゐるかね、どんな所か」

やつぱりにつこり笑つて默つてゐる。

「ね、知つてゐるの？知らない？默つてゐてはわからんね、ね、知つてゐる？知らない？」



漁村の處女　（二階堂たかな子寄）

「あの吉原つていふのは、女の人の……」

「ウム、さうだ、ゆこう見に」

「わたし上野の動物園を見たいわ」

「吉原も動物園よ、女の動物園さ狹い檻の中に女を入れてね、どこへも出さず、泣かせてみたり怒らせてみたり、動物園よ、千代子、お前が若し貧乏の家に生れて、お父さんが急に亡くなるお母さんが怪我する、借金取が來る、親類はない、食へなくなる、その中高利貸が來てお前を女郎に賣らうとする、お前どうするか、舌を食ひ切て死ぬかそれとも身を賣るか、どうする？」

「あつ千代ちやん、かにんしてお呉れ、お前を泣かせ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

る爲にこんなことをいつたのぢやなかつのだ、ね、ゆるしてくれ。お兄さんがわるかつたのだ、ゆるして、ね。千代ちやんが可愛ゆいからツイこんなことを、いつたのだよ。かんにんしてお呉れ。さあ是から上野へゆきましよ」

（五）神よたつた一人の妹を

千代子よ、お前は、ほんとうにまつ白の紙だ、純潔な娘だ。然し今の汚れた世の中を渡るにはあまり清すぎる、美しすぎる、千代子よ、どうかもつと〳〵強い娘になつてくれ、惡るい娘になつてくれ、染めずに白いのはあたり前だ、どうぞ染めて染らぬ娘となつてくれ廣い世界にほんとうに娘を思ふのは、親を除いてこの兄ばかり、娘よ、心を強くもつてくれ。

花の盛りには雨風が多い、天地の神さまよ、たつた一人の私の妹を守らせたまへ。光榮ある前途を開拓せさせたまへ。

○中央部より

田子新理事

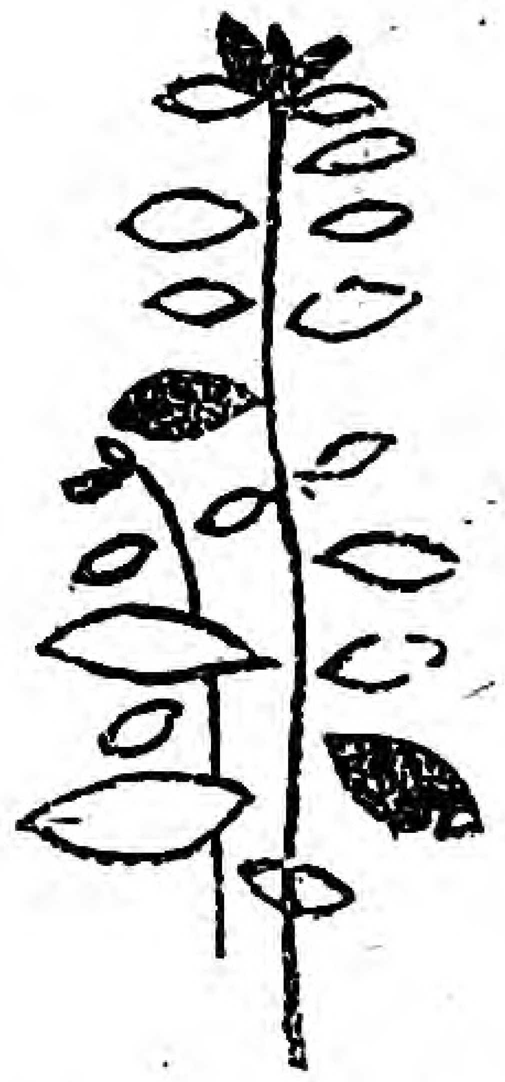
田子理事

内務省社會課長にして、近く新設せらるゝ社會局の局長たるべく内定せられたりと傳へらるゝ田子一民氏は、今回處女會中央部理事に就任せられました。同氏は多年内務書記官として地方行政の要衝に居られ、青年團處女會に就て殊に趣味と造詣を有せらるゝことは、識者の知る所、最近「新時代の婦人へ」をも著述せられました。今本會が斯樣な方を理事に迎へましたことは、非常の仕合せであります。此に謹んで全國愛導者及誌友諸子に御披露致ます。

○高野理事の寄附

實業界に在つて多年婦人問題を研究せられ、我邦斯界の權威として識られてゐます中央部理事高野重三氏は、處女會につき多大の援助をして下さることになりましたが、今回事業費として金百圓を御寄附下さいました。皆さんと共に、謹んで御厚情を感謝致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



着物の模様と其着方（續）

流行にも良い流行と悪い流行とがありますから一概に流行をおふのは悪いとは申されませんが婦人の衣裳には隨分無意味な流行が多くあります「京の着だほれ」「大阪の食だほれ」とは上方で言ひ古されたことばですが、今や京大阪のみならず東京を中心として津々浦々どんな片田舍にまでこの着仆れの風が感染して、年若い人達は自分の立場も何も忘れてしまつて着物や帯のことに精神を囚へられて居る向も多く見うけますのはまことに慨かはしいことです。

昔の流行といふものは一つものをあまり永い間つゞけて來て飽きが來たから何か變つたものをと考へて或人が新らしい趣向のものをこしらへて着て見ると、他の人々も同じく一つものに飽きて來た時代であるからそれを見てあゝよいと思つたら自分も用ひるといふやうなわけであつたから流行が遲々として一つものが十年も十五年も用ひられて居たやうですが、今時の流行はさうでなく織元や呉服店の意匠家がそればかりにかゝつて年々歳々新らしいもの〳〵と出して行く、それを虛榮的にいくらでも買つては着〳〵する人があるから流行の變遷の早さと言つたらお話にもならぬほどで去年のものは今年は古く、今年の物はもう來年は遲れるといふ位で、絶えず流行の先がけをして居る人は一般の人が着出したら、もはや他の新らしい流行の方へ眼を向けて居る、ぐづ〳〵して居る人はうつかりして居る間に幾度も流行が通り越してしまふといふ有樣です。こんな風に全速力をもつて後へ〳〵と來る流行を何の眼識もなく追ふて歩るく必要が何處にありませうかこれがためには大切の精神がどれだけ無駄に費されるかしれません。それでも經濟の豊かな人達ならばまだしもですが、さうでもない不自由な人達にとつては、其間にどの位の苦しみをせなければならぬかわかりま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

せん。こんなつまらない苦勞をせずに

流行を超越して自分に似合ふものを

流行にかまはず、自分の身柄に適合するものを、自分に研究してこしらへるといふ風になつたらどれだけ美容の上に又經濟の上に有益だかわかりません。

大正時代の進歩した婦人が現在自分の身につけるもの位にはこれだけの見識をもたねばなりません。而して又どういふものが自分の顔に似合ひ、どういふ風のものが自分の體格に適するか、どれだけの價の物を着るが自分の家の經濟にかなふか、かういふ諸點をよくよく研究して自分のみならず、自分の一家の人々の着類をこしらへて上げてほしいものです。

着物の着かた

流行の事や、撰擇のことについてはまだ〱言ひたい事が澤山ありますが、それは又次へゆづり着物の着かたについての注意はこうです。

いくら色合や縞柄もやうをよく擇んで仕立てましても、着方が拙い時はやはり見苦しいものですから、この着方といふ事も一通り知らねばなりません。

大柄、小柄、肥り過ぎ、瘦せ過ぎ、或は何、或は之と種々樣々の形がある限り、其形に相應しい着方をする事は婦人に於て最大切のことゝ思はれます。

背の低い人は襟巾をせまく高い人はこの反對に

襟巾のきめ方についても背が低く肥つた人ならば、先づ廣襟の場合其ゑりを半分程に胸のところまで折り、襦袢の襟も半分程に折り襟首のすうつと長く見えるやうにすれば幾分背の低さを補ふて見心地のよいものです、背の高い大柄の人は之と反對に小じんまり見せねばならぬから襟巾も半幅よりは少々廣く折り胸の邊りも程よく擴げ尙其上襟を後ろへ引いて拔衣紋にしますと、自然背の高さもまぎれて程よく見えるもので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

す。
　又身幅のとり方とても小柄な人には上前の立褄が一分でも二分でも出過ぎないやうに重ねて程よいと思つた所で下前の方を心もち上げるやうにして締めればよし端折が多くなれば腰ひもに挟みて少くしないと前の方があまり短く見えて見苦しくなります。
　大柄の人ならば上前の立褄が二分位横から出る位廣くすれば細長い腰にならずに恰好よく見えるものです。大柄でも、小柄でもない人ならば上前の立褄を下前の横一ぱいに重ねればよろしい。

帯の結び方にも研究して

　帯の結び方も背の低い人、高い人、肥つた人、痩せた人、年齢の差、氣候の違ひによつていろ〳〵様々に變らねばならぬと思ひます。
　冬向きは巾の廣い帯を豊に結んだのが好いし、夏向きは巾も少々狭くして心のうすいのを小じんまりと結べば涼しさうに見え、色合、柄、もやうも冬向きは濃厚なものを夏向きは清淡なものをといふやうな事は申すまでもありません。
　結び方も肥つた人、痩せた人、背の高い人、低い人いろ〳〵自分の體格に氣をつけて其短所を補つて見苦しからぬやうな結び方をせねばなりません。
　兎に角自分の身體に適合するといふことを、もつと人々が研究考慮するやうになり、其の智識が發達すれば流行に盲從して自分の身に適はぬものまで慾しがるといふやうなことはなくなると思ひます。
　たとへ染絣でも紡績紬でも自分の身體にちやんと適合したのを着て居る時は其人の衣服に對する知識と道徳心の程度が外に表はれて實に立派に見えるものであります。（完）

むつましいぞや田舎の隣家
かしぐけぷりもゆきゝする

われ人に恵みしことは忘れても
人の恩をば永く忘るな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

修養日記

本會評議員　山本瀧之助

これは一枚刷にして手許の處女會員に配つたものです。

▲一日　けふは月頭で大切な日であります。いつもよりか早起をして、神棚にも佛壇にもお燈明を上げましたけふ一日は特別に心を用ひて腹を立てまい。よく仕事を勉めやうと致しました。お蔭で大した失策もありませんでした。七錢のお豆腐が六錢に下りました。

▲二日　今朝も早起して屋敷最寄の草を取りました。跣足になつて裾をかゝげて庭を掃きました。ついでに前の道も少しばかり掃いて置きました。よい心持でした。

▲三日　雀の鳴き聲が聞えますので驚いて飛び起きました。朝寢の罰金として仕事のアイマに便所を綺麗に掃除しました。手水鉢の底を砂で磨きました。今月號の『我が家』が來ました。

▲四日　けふ講話會に出席して、生活改善のお話をきゝました。中に葬式に酒を用ひぬやうにしたいとのお話がありましたが、それは尤もなことゝ思ひました。

▲五日　お臺所の見易い所に小さな塗板をかけてゐて、それへ忘れてはならぬ用向きを書いて置くことにしようではありませんかと、けふお晝飯の時に相談を持ち出しました。學校ではあるまいしと言つて、誰れも賛成しませんでした。

▲六日　晝寢してゐられるお祖父さんにソットと傍で蠅を追つて上げました。コンナあたりまへのことをしたのでも、兎角善い事の行へない私達には、これをけふの一日一善と致しました。『處女の友』と『處女讀本』とを注文致しました。

▲七日　脊戸の空地に馬鈴薯を四株五株植ゑて置きました。けふ掘つて見ましたら五六度分のお菜が取れました。

▲八日　餘所から歸りに或るお内の前を通りましたが、男衆の肌帶や又婦人のお湯具などを椽前の竿に干してありました。肌につけるものは成

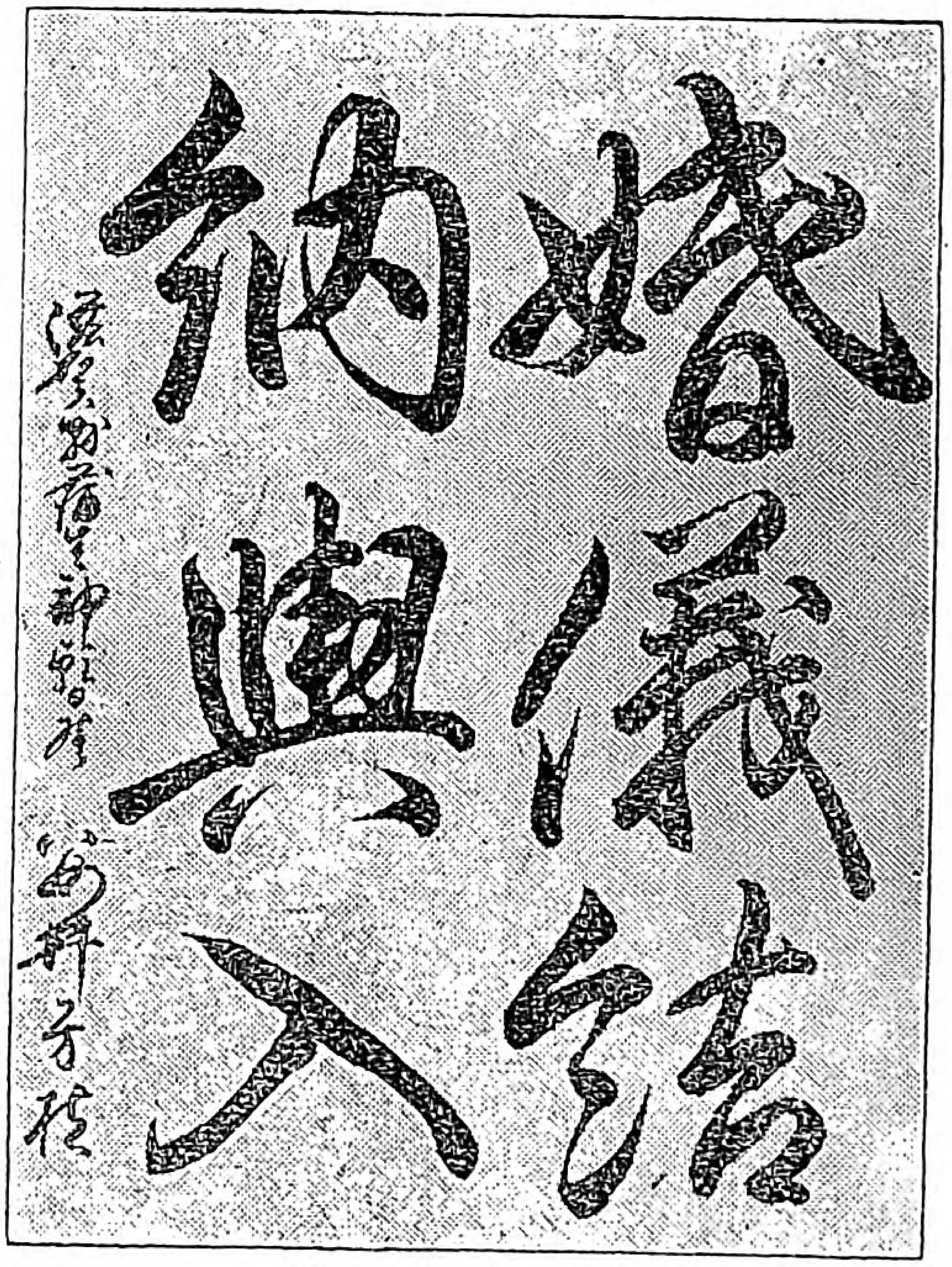
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

るべく脊戸口に干したいものと思ひました。夜お針をしてゐるとたしか蟲の聲がしました。秋の匂ひが致しまして懐しうありました。

▲九日　いつの間にか時計が止まつてゐましたので、早速直して置きました。家の内で時計の止まつてゐるほど不景氣なものはありません。

▲十日　店屋の請取が一枚脊戸口に散らばつてゐました。直ぐ拾つて状さしにさして置きました。いつか學校から貰つた心得草といふ刷物に、請取證の類は大切に保存するとゝありました。請取證をなくしてゐた爲めに、お金を二度拂ふなどのことはよく有ることです。不断着を一枚箪笥から取り出しました。しまふ時に洗濯してしまはなかつたので、かび臭くて直ぐには着られません。

▲十一日　末の妹にお金を預けさせました。これで兄弟四人みんな貯金の通帳を持つことになりました。



第一等賞

▲十二日　校長さんから、生活改善に就いて何等か改むべき點なきかとのお手紙が來ました。お客があれば是非お茶を出す習慣がありますが、お湯の沸いてゐない時は困まることがあります。折角お湯をわかしてヤツと沸いてゐると其の内にお客は歸られるなどのことがあります。お茶を飮む習慣は追々止めては如何でせうか。御愛想を思はずには亦外に何にか分別もあるでせうと返事を出しました。

▲十三日　浪花節をやらせるからといつて宿を頼まれました。説教や講話會ならば喜んでお引受けしますが浪花節や源氏節などの宿は眞平御免を蒙りたいといつて、お父さんは直ぐに斷はられました。

▲十四日　兎角臺所で食べ物のすた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

りが多い。漬物の一と切も粗末にしては濟まぬと心懸けてゐます。いつも米七合麥三合の割合ですが、けふはソット米六合六勺麥三合五勺の割にしました。誰れも麥が多いとも何んとも言ひませんでした。當分知らぬ顏でこれにして置いて、いつの間にかは米六麥四にして見せませう。

▲十五日　けふは家庭茶話會の定日なのであります。夕飯が濟みましてから一同御座敷に集まりました。開會の挨拶が私、太郎さんが勅語捧讀。おぢいさんの昔の參宮話。お花さんの唱歌。お父さんのお話。私は「怒るな働け」といふ書物の中を二三頁讀みました。ヤレ〳〵御馳走であつたとお茶を飲んでお菓子を食べて、おぢいさんはお寢間の方へ立たれました立ちかけに腰のあたりから煎餅が一つ轉つて落ちました。太郎さんとお花さんとは棟上の餅を拾ふかのやうに奪ひ合つて煎餅を粉にしました。

▲十六日　單物の不斷着をスッカリ筒袖にしました。處女會員で御本山參りの貯金を始めてはと思ひつきましたので、お友達に相談して見ました。

▲十七日　これからは一と月交代で仕事の役割を定めました。弟は每朝上の間を掃くこと。妹は佛壇のお花を枯れぬ內に立て替へること、私は每朝お祖父さんが床の中にゐられる內に、甘まさうな火を煙草盆に入れて持つて行くこと。

▲十八日　或る家の家憲といふものゝ中に『家內の和睦は儉約の基なること』とありました。病氣に罹る程大した失費はありません。家內が睦まじければ、皆の氣分が生き〳〵として自然にマメであらうと思はれます。

▲十九日　親類のお伯父さんが見えました。お土產として葉書を十枚下さつた。成程お土產には金柑やサトウ木より葉書などがよいと思ひました。

▲二十日　椽の下で鷄を飼ふ事にしました。卵の代だけで女學講義錄が取れる筈です。日記をつけてゐると猫が急に大きな聲で鳴いてビックリさせました。

▲二十一日　お客を致しました。此の程節約同盟會の刷物を見ましたら、中に、酒は强いぬこと、ありました。世は靑葉の頃となりました。

▲二十二日　處女會が開かれました校長さんから、岐阜縣の蛭川村とかの臺所品評會のお話を承はりました。審査員を設けて置いて、いづ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

れの家にも廻つて臺所の整頓振を見るとのことであります。ソンナことが行へるといふは、眞に感心なことてあります。

▲二十三日　電燈は用のない時は夕ゞの一時間でも消して置きたいものと思ひます。それは全く電力の儉約なのであります。併しそれで電燈料が安くなるではなしといつては、お恥づかしいことですけれど、兎角入らぬ光を終夜點し通し勝ちであります。

▲二十四日　ツイ唾を吐いてゐたらお父さんから叱られました。唾は成るべくは叱かぬものである。唾はからだの爲めになる。ましてや人の目にふれる所に吐いて、他人にきたないものを示しては濟まぬと敎へられました。

▲二十五日　花ちやんがお見えになつた。此のお方はいつでも上り端に腰掛けたまゝ、用談をすまされて直ぐに歸へられます。仕事の手間を取つてはならぬとのことなのでせう。

▲二十六日　夕飯を濟したアトで偶々火事の話が出ました。ヤレ火事じやといふ時には先づ一番に何にを出すかと、お父さんから問はれました。お花さんはお茶碗とお箸とを出しますといつて大笑ひでした。

▲二十七日　今更らのやうに氣づいて、此の頃はかまどの下を焚くのに薪は決して一度に三本以上燃やさぬことにしてゐます。

▲二十八日　兄弟三人で一日一善の巡回日記を作ることにしました。けふは私の番でありましたので、次のやうに書いて置きました『風呂のふたを取つて見たら中に小さな蟲が飛んでゐました。しづかにとらへてにがしてやりました。』

▲二十九日　御飯はいつもおぢいさんをめあてに、どちらかといへば柔かにしかけてゐましたに、けふはどうしたことか大層こわくなりましたそれでもおぢいさんは何んとも申されないでした。

▲三十日　小使帳を出して此の月の諸雜費を計算して見ました。小さい家でも中々澤山お金が入ります。蟬が張合で鳴きます。元氣なものですアンナに元氣を出したいと思ひました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會めぐり

本會評議員　天野雅彦

◇

大分縣東國東では今處女會が芽生えてゐる、そして頗る健全な發達を遂ぐべき徴向を示してゐる。

此地方の極めて有難い特徴は、自作農が多く、中產者が全半を占めてゐると云ふことである、素ばらしい富豪もなければ、しやうもない貧乏人もない、縣内でも衆議院議員選擧の有權者が千人中八十七で一番都合がよいのだ、さうだ此點、三重の阿山郡などに似通つて、お待兼ねての主張に理想的に自ら合致する處は、愉快禁せざらんとするも得べからざる處だ。

實は講演の題材も時節柄、勞資の問題に亘るものを提げて行つたのだが、それが一向當て外れ、お藏にしてしまつたなどは、嘗つお目出度わけなので、日本の今日の狀況から、かゝる奇蹟的の存在は、よほど趣味ある研究の資料にもなることであらうが、我々平凡な素人考にして見ると、畢竟山も海も、田も畝もあつて所謂惠まれたる土地柄である上に、老幼男女揃ひも揃つた無類の勤勉家であることから起るのであらふ中にも副業がかなり發達してゐることが、此郡の人々の懷を暖かにした。主の理由でもあるであらふ、北部に於ては養蠶、南部で七島莫蓙―(豐後表)―此郡の人によつて織へられる靑筵、此靑筵が極めて盛大各戶之れを織らぬものはない。本郡の主產物になつてゐる、是れが皆處女の手で織られてゐる、蠶が婦人の手に養はれることは云ふ迄もない、北部のある寺で泊つた時其寺で原紙十一枚をはいてゐる、しかもそれが母と娘との二人の仕事であると聞いて驚ろかされた、一例がこれだ。處女がいかに働いてゐるか、此郡の富がいかに處女の手によつて作られてゐるかと考へる時、此郡がかくの如き好き狀況を作つたものは處女の働きが與つて力あると云ふことは決して云ひ過ぎではあるまいと思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◇

働く處女、それは此國東の處女を云ひ現はす最も適當の標語でせう、此國東を煙草入にすると、其根付とも思はれる、姫島、名から處女會にふさはしい姫島、此島の處女達の働きは又一寸趣が異つてゐる。此島は女子の働く島です、一と周五里足らず東西一里半面積の八方里といふから、目へ入れても痛くないほどの可愛らしい島人には二千五百、男子は多く海へ出で、地上のことは全く女の手一つ、二百町歩の畝の耕作から、薪とり、其他一切の家庭の雜事の外に、四百頭の牛を育てゝゐる。それが皆處女の仕事です。

此島の處女は、皆一頭づゝの牛を曳いてあるいてゐる、彼女等は學校を卒業すると、一頭の小牛をあづけられる。彼女等は朝起きると、氏神大帶八幡へ參詣すると、此小牛を牛小屋から引き出して、島一番の高い山、その形から名のついたであらふと思ふ矢筈山へ引いて行く、そして一日遊ばせる、其間畝だの薪とりなどして夕方になると連れてかへる、それは可愛がる何んのではない、まるで愛人のやうだ、手の掌の鹽をなめさせる、手鹽をかけるとはこのことだ、味噌をなめさせる、それはそれはいたはつたものだ、牛には荷物をつけさせぬ、大低自分で脊負つたものだ、もしも牛に荷物をつけて手ぶらでも歩かうものなら、あの娘はなまけ者だと、すぐ後指をさゝれる。

◇

かうして育てるのだから、二三年もたゝうものならもう鞍がのらぬほど、丸々と太つたものだ、百圓で買入れたものが三百圓にもなる、暮の十日から其耀市が立つ、處女達はめいめいの牛を引いて來る、その牛の値のよいのが處女の誇だ、彼女等はそんな處で鼻の高さを比べ合ふ、それが又彼女等の收入となつて結婚の費用にもなる。

これ等の話でいかに國東の處女が働きてであるかが分つたでせう、處が此働く處女達の頭に、只働くのでは駄目だ頭がゐる何の爲めにどう働かねばならぬかと要求が朧げに起つて來た、この要求の潮先にのつて產

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

れて來たのが處女會です。
一體今度の巡講の主眼は郡教育會の主催した民力の涵養通信講話の爲でした。午前は男子午後は女子といふことになつてゐた、女子の聽講者はどうであらふかと頗る氣遣はれてゐたにかゝはらず、案外の多數に上つたので郡當局さへ驚嘆してゐたような次第、村だの學校だの有志だのゝ努力もあつただらふが、畢竟時代の潮のしからしめる處で、國東の婦女子の頭にも夜明けが來た證據と見ないで、此事實を何と說明が出來やう。

◇

中にも處女會のある處が尤も成績がよい、處女會員がいつも聽衆の中堅であつたと云ふことを知らすると大兄の鼻の高さを想見することが出來る、上國東とか伊美とか、甚しい降雨で、橋が流れさうな始末、猫の子も來ないと思つてゐたに、處女會員、尻端折つて集つて來た。

南安岐村では、九十名の處女會員、總動員で、今度の講演會の宣傳につとめ、聽講者（多く婦人）のかり出をやつた、その爲同村空前の婦人の集會を見た富來にしても武藏にしても朝日でも中武藏でも、安岐でも武田津、大内奈狩江でも婦人の出の多かつたのは記錄を破つた、西武藏では三浦梅園先生のお祭があつた、處女の參集尠くなかつた、旭村では發會式をかね慈善演藝會を開いて、基本金を作らふと云ふ相談も出てゐた西安岐村では此講演會をよいしほに發會式をあげた會場は評判の長い學校俗に一丁學校の名がある小學校の講堂、時は四月二十八日午後一時、時刻全く正確に會員二百二十名、一般婦女四百名の臨席の中に發會式があげられた村の婦人の總動員と云つてよい君が代の合唱、勅語の奉讀、會長宮本校長の式辭、井上村長の祝辭、來賓、郡長代理河野視學の『處女會につとめて出席せぬものは嫁の媒介をせぬぞ』と云ふ極めて振つた講演不肖又中央部を代表して祝辭中央地方との連絡の必要をのべ、處女會員の答辭あつて講演にうつゝた當日處女會の歌（野の幸）が謄寫板で印刷されて、會員一同に配布されたのは、氣のきいたやり方だと思ふ。

是れを要するに、東國東では地ならし已に終り、今已に種子はおろされ、今盛んに芽生えつゝある、指導者の努力、會員の自奮によつて、必ず非常の發達を遂ぐべきこと期して待つべきものであらふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都に憧れて（其十二）

白雲生作

「都に憧れて」は大分永くなりました上に、もう全國の活動寫眞館へ出るやうになりましたので、今回は、大急ぎで筋だけ書いて終りと致します。

お茶の水の教育博物館を視察し、本所押上の富士瓦斯工場を見學しました大石校長は、處女會中央部を訪れることになりました。自分の村に家出娘もありますし旁々地方婦人の樣子を調べるのが目的でした。

麴町の本部に參りまして、案内を乞ひますと、丁度その日に處女會中央部の理事會がありましたので、校長は親しく理事の方々にお目にかゝつていろ／＼全國婦人界の活動の有樣などを聞きました。この日に來られた理事は、三輪田眞佐子女史、嘉悦孝子女史、山脇房子女史、吉岡彌生女史などであります。校長は是等の名流の女史たちにお目にかゝつたことを非常に名譽とし、尙婦人同情園への紹介狀を貰つて夕方歸りました。

此所がすつかり活動寫眞に入つてゐます。日本でも名高い四女史がフヰルム中に入つてゐるといふことは、この會の一大權威で、地方の方々にとつて一層の喜びと思ひます。

大石校長が婦人同情園を順に視察して、ミシンをしてゐる一室に入りますと、一番前の方に一生懸命に作業をしてゐる娘がふいと校長をみました。其がお房だつたので、校長は「をゝお房さん」とびつくりして聲をかけますと、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『をゝ校長先生！』
とお房ははづかしさにうつむいて、
『申し譯がありません、先生！』
此處でお房は幸にも校長に發見せられ、相伴ふて故郷に歸ることになります。
故里では、お房が家出してからは、一家がうつて變つて平和になり、息子は親爺さんの肩をたゝいてゐます。妹はお婆さんと下の留池で洗ひ物をしてゐます嫂がのびをして向ふをみますと、校長さんとお房が來ます。
『おゝ母さん、お房が……』
とお婆さんの肩をひつぱります、お婆さん尻もちついて立上る。お房は向ふからしほ／＼と來ます。
『をゝ房ッ、よく歸つた』
肩をもまれてゐた親爺さん、轉げるやうに下りて來て婆さんを追ひかけ、
『房ッ』
といつたまゝ手を握ります。お房は泣き崩れます。
『ゆるして下さい、申し譯がございません』
『房ちやん、わしがわるかつた、ゆるしておくれ』
と嫂も泣いてわびます。此に一家は春風の如く圓滿になります。

校長は村長に視察の報告をしまして、
『東京は恐ろしい所でございます、けれどもよく考へてみますと、お房にも罪がございます、何も知らんのに家出をするなんかつまり不自覺の至りです。ついて村長さん、私は處女會中央部へも參りまして、先生方にもお目にかゝりましたが、全國に大分處女會が出來て居りましてね、處女の修養娛樂の機關となつて居ます。會則も持參いたしました。是れは大變よいことゝ思ひます、まだ本村には處女會がございません。如何でございます、ひとつこしらへましては』
村長は大賛成を表します。やがて校長女教員有志が集つて設立の相談會を開き、紀元の佳節を卜して盛大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なる發會式を催すことになりました。會場に集る處女二百名、校門に日の丸を交叉し、いかにもお目出度い光景でございます。

校長の開會の辭に郡長の祝辭などのあとで、會員は一同揃って『野の幸』を歌ひます。お房はもとの野の娘になつて、中央につゝましやかに立つてゐます。

此に目出度く本村に處女會が出來たのです。

この處女會の發會式は、靜岡縣富士郡須津村の處女會員が殊に活動寫眞の爲に働いて下すつたのでございます。須津村の處女會は、五年ばかり昔に出來て大變まじめにやつてゐますが、發會式の眞似をして下すつたのです。忙しい時でしたのに、二百名足らずの會員が集つて下すつたことは皆さまと、御一所にお禮を申し上げねばならぬことです。

宮城縣菖蒲田濱海水浴の景

（二階堂たかを子寄）

■

翌くる朝でした。お房が朝早く眼をさましますと東の空が赤らんで、今にも朝日が出さう、

『をゝ何といふ美しい夜明けでせう、一點のけがれもないこう〱しいこのけしき、あゝ私はなんとして、こんなしづかな田舍を去つて都にあこがれたでせう、そうそう是からまだお父さんたちのお目ざめにならぬ中に、ひと働き致して來ませう』

と裏の小川に顏を洗つて、そして草かご脊負つて野に出ました。そして小川のほとりにさしかゝつた時、しのゝめの空をつんざいてさしのぼる旭日の光り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『をゝ美しい』

お房はヂツと立ちどまつてのぼる旭日をみつめてゐましたが、大自然の靈光にうたれて感極つて身動きもしません。やがて朝日がとぎすました鎌にきら〳〵と反射しましたとき、お房は鎌の柄をグツと握り。

『あゝ私の生命はこの鎌にあるのだつた、これが野の娘たる私の誇りであつたのだ』

としみじみとみとれるのでございます。

× × × ×

是が『都に憧れ』の大團結でございます。

『都に憧れて』のフキルムを進呈

「都に憧れて」の爲にはがきの出來ましたことは、後の記事にありますが、記念の爲に、フキルムを少しづゝみなさんにさしあげることに致します。然しみなさん全部にさしあげては、足りませんから、「處女の友」の讀者を一人紹介して下すつた方に、少しづゝさしあげることに致しました。皆さんのよい記念になります。但し送料二錢は御送りのこと。

本郷元町二の六六
處女の友發行所

妹に處女の友を

長野縣松本市在神林村　村山國彦

私はまだ年若き青年の身でありながら、この優しき處女の友の愛讀者であります、處女ならぬに誌友となりました私には次のやうな考へがあります。私には三人の妹があり、何か良誌なと物色する事久しく偶然私が常々愛讀する「帝國青年」誌上にて、本誌の廣告を見受け、本誌が處女敎導に最ふさはしい雜誌である事を知り、購讀するやうになりました。私の二人の妹は尙少女の域を脫し得ざるの年齡にて、處女と言ふ意味すら解せず「そんなむづかしい名の本なぞ讀みたくもない」と言ふのでありましたが、しかし私は試みにと七月號の本誌を見本として送本願ひました所が想像以上に內容豐富にして 我等にまで味ふべき佳言敎訓に充實したる良誌なるに一層感じ、彼等はとうとう自ら進んで直ちに誌友となつたのであります。それで本誌が着きますと私が先づ一讀再讀し、文中意のある所や、切實なる訓言の所へ點を附し、 注意線を引きなどして妹等に讀ませ 「不明の所は聞け、良く讀め」と敎へるのであります。私は極めて眞面目に熱心に愛讀する者へであります。誠に本誌は單り處女のみの誌にあらず、眞面目なるべき靑年の大いに讀んで可なるべく、亦父兄として、 子妹敎養の心掛上精讀すべき良誌だと痛切に感じられます、又常々の御敎へなる强く優しくまじめに働けの會訓は、移して以て我等靑年の訓となすに足り、尙私の最よろこばしいのは私の心竊かに崇敬私淑する天野先生が本誌の主筆たられると共に、私が愛する帝國靑年にも筆を投じられ所謂靑年會と處女會との提携上に多大の聯絡をお取り下されるやうに思はれ一段と本誌を懷しむのであります。私はかゝる心を以て美しき訓言に滿ちた本誌を愛し、衷心より本誌の御發展を祈る者であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『都に憧れて』が全國を廻ります

◎

本誌が續けて掲げてあるからみなさんは御承知の「都に憧れて」は、地方の娘の都に憧れ出るのを戒めたもので、東京市にあつた出來事を土臺として作つたものであります。之は劇場や活動寫眞館へは出さずに、處女會で全國を廻つて皆さんにお目にかけるつもりでしたが、費用の關係上どうしても其が出來ません。

又其を寫した日活の方では是非あれを活動寫眞館でやらせて欲しいと頻りにたのまれましたのでとう〳〵許可致しました。日活は御存知の通り、日本でも名高い活動寫眞會社です。全國に幾百といふ常設館をもつて居ります。

◎

日活では第一回を淺草公園の富士館で演じました、富士館は淺草第一の大活動寫眞館でありますが、其んなことよりも、私が嬉しかつたのは、淺草と云へば、どちらかと云へば俗の所、田舍娘をかどわかす所です、此處でザミな「都に憧れて」をやつたといふことであります。今まで松之助劇をみたり、ジゴマ式の活劇をみなれた見物人は、どんな顏してこれをみるかと思つてゐますと、意外にも大喝采で、野の幸の唱歌を歌ふ時など、シンと靜まつてしまひます。わたくしは、嬉しくてなりませんでした。處女會訓の「強く優しくまじめに働け」も出て來ます。

淺草から本所押上の業平館に「都」が參りました、本所と云へば、勞働者の多い所、家出娘の多い所ださうです。此處でジミな「都に憧れて」が又々喝采をされましたのも意外です。中にはわざ〳〵あの寫眞ばかりを見に來る女敎師や女學生が少くないさうです。

一寸覗いてみましたが、表の畫看板に、新派悲劇「都に憧れて」とかいて、お房が堤の下へつきをとされる所をかいてあります。東京のまん中でこんなに大さわぎされやうとは思ひませんでした。私は私の子が出世した樣でうれしくてなりません。

◎

本所から大塚の電氣館に參りました。此處では大きな幟を建て新派「都に憧れて」と赤く染め出してあります。廣告札には皆さまご存知の處女會訓をも廣告してあります。今や「強く優しくまじめに働け」の處女會訓が、東京の女學生の敎にもならうとしてゐます。

所が昨日から上野や深川の寫眞館で「湖に咲く花」をやつてゐます。説明をみると、

地方の娘よ、あなた方のあこがれた都

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、そんな美しい所ではありません惡魔がゐます、人鬼がゐます、本寫眞は田舍娘の家出を戒めし教訓劇、やはり湖に咲く花は、湖に咲くのが生命……

といふやうなことがかいてあります。「都に憧れて」のまねをしたものであろことは、誰がみてもわかります。

私が作りましたものの、まねさへ出來る樣になつたのは、意外でした。

是から東京中を廻つて靜岡の電氣館にまゐりまして、順に日本中を巡廻致しませう。就いてみなさんは、みなさんの御近所の寫眞館に「都」が廻つて來ましたらば、是非ごらん下さい。父母のゆるしを得て是だけはごらん下さい。

尚私は日活のより完全なものを一本もつてゐます、是は時々持參して映すこと

入賞

になつて居ります、先月信州へは之を持つてゆきました。片倉の女工さん三千人もみて大喝采でした。今は愛媛縣へ貸してあります。本部では、無料で幾日も貸してあきます。

げたいのですが、フヰルム丈にも一千五百圓かゝつてゐますし、尚第二回の映寫準備もありますので、多少の損料を出していたゞきたう思ひます。荷づくり費も御出し戴

尚皆さんには御披露いたしたきは、こんど「都に憧れて」のゑはがきが東京市神保町通り上方屋平和堂で發行されたことでございます　四枚一組で大變心持よく出來ました。圖ば七面で左の場面を寫眞にしました。

一、のころ姫を見送りつゝ（都ゆきの汽車を見送るところ）
二、乙女心のひとすじに（一番汽車に乘る爲に停車場へかけつけるところ）
三、都へ！（東京驛につくところ）
四、不安（停車場前で不安の氣持の所）
五、魔の家（恐ろしい家に誘拐されて爲る所）
六、別離（お房とお君との別離）
七、野の幸（お房が朝日を浴びて鎌の柄を握つてゐる所）

にすつかり說明がついてゐますので、活動寫眞をみない人にもよくわかりますし、みた方は、記念にもなります是は私が特別に上方屋に依賴して、實費で賣つていたゞくことになりました。お求めの方は、四枚一組十二錢送料二錢では頒ち致します。中央部でもお取次致します。（アヤノ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小説

友情（その二）

深緑

松崎ひろの子

△只二人取り殘された靖代と繁野は、ホッと顏を見合せて手を握り合ひました。意地惡の高子等に罵られ乍らも、自分を庇つてくれる繁野の親切が、靖代にとつてはどんなに嬉しかつたでありませう。

「繁野さん」とすがりついて

「繁野さん私は――私はどうして一同に嫌はれるんでせうねえ」

涙ぐむ靖代の淋しさうな顏を、可憐しくてならぬやうに見守つて、繁野も涙ぐみながら

「ねえ靖代さん、貴方の心が一同に解らないのよきつとさうだわ今に高子さん達も貴方が好きになる時が來てよ、だから靖代さん心配しないでね」

心の底から慰めるやうに靖代の顏を覗き込んで、可愛らしい聲で、勵まし乍ら

家事便覽

（一）衣服の洗ひ方

衣類の洗ひ方

どんな水が宜いか、井戸水と川水と、雨水とを較べると井戸の水には普通石灰などを含んで居るから洗濯につかつては適當でありません、雨の水で洗濯すると、大へんよく垢が取れます。それ故洗濯用としては雨桶の水を貯めて置いて使ふが一番よし、もし井戸水で洗ふ時は一度煮たゝしてから使ふ方がよいのです。

すべて石鹸をとかして見て泡のたつものは洗濯に宜い水で、たゝぬものは不適當の水です。

洗濯汁の造り方、垢のひどくついたものや、白地のものなどを洗濯するには洗濯汁をつくつて洗ふと造作なく綺麗になります。洗濯汁の作り方は、普通の石けんを細かく削り、石鹸三錢に水一升位の割合で、金盥か又はバケツに入れて溶かし、一寸火にかけてどろ／＼に煮るのです。此洗濯汁にぬるま湯を加へ、洗濯物がぐた／＼になる位にして一夜漬けておくと、普通の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「でも私困つたわ――高子さんが無理に引張るんですもの……」
と眉をひそめて言へば、靖代は氣の毒で堪らず、
「ほんとに私のために一同にどうか思はれやしないかと、貴女に濟まなくつて……」
自分が犯した罪を恥ぢるやうに、俯向いて氣の毒さうに言ふ靖代を元氣づけて
「いゝえいゝえ私は貴女の仲よしです。私は他人がどんなに言つても貴女と仲よくするのが一番うれしいの、靖代さん私は貴女が喜んで下さるならそれが何より嬉しいのよ」
「まあ繁野さんそんなにまで……」
「えゝえゝ私と貴女は」
「私――うれしくつて……」
二人はひしと手をとり合つて、田甫道から町並の軒下を歩いて行きます。やがて「杉本醫院」と大きく書いた表札のある門構への家の前に來ると二人は手を離して
「さよなら」
「さよなら繁野さん」
「靖代さん明日も誘つて頂戴ね」

汚れる物ならば翌日洗濯する時にはひとりで垢が落ちるやうになります。
　木綿物の洗ひ方、白木綿は白水(水のとぎ水)に曹達を少し入れたもので洗ふと紺色のつやが出てきれいになります、但しこの場合には決して石鹼を使用しません。紺足袋はこの方法で洗ひ、白足袋は白水で洗ふときれいになります、すべて足袋は生が乾きの時コテをあてるとぴんとしてゐて穿き心地のよいものになります。

白いものゝ洗ひ方

白いものを洗ふにはどうしても洗濯水をつくつて洗ふ方が便利です、かね〴〵顔洗ひ石けんの使ひ殘りをためておき、それを金盥か盥の中へ入れ、上からお湯を少し加へ手でくる〳〵とかき廻しますと白い泡が澤山に立ちます。可なり濃いぬる〳〵とした汁になつたらば其中へ洗濯物を入れ、洗濯物を浸け込み暫くたつてから洗ひますと一つ〳〵に石けんをつけて揉むよりはよく垢がとれます。そしてもし洗濯板を使つて洗ふ時は、板の上でゴシ〳〵強くこすると地質を大變痛めるもの故、この石鹼汁に充分浸けた後、輕くする〳〵と洗はねばなりません、又白い物を洗ふ別法として、初めに洗濯物を水につけて水が充分浸み込んだらば輕く絞つて洗濯板

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「えゝ」

につこり笑つて二人は別れました。

繁野の家は大きな立派なお家です、其家の前を通る村の人は、誰も自然に頭を下げる程先祖代々醫者として情深い人ばかりで、非常に尊ばれて居ます。

繁野の父も先祖の血を受けて誠に親切な義狹心の強い人で、財産もあり、學問も深く、全く村一番の名望家でありまして、繁野の母も亦優しい情深い人で氣の毒な人の爲には、力の限り盡すといふ人でしたので、この慈悲深い繁野の兩親のために有難涙にむせんだ者は到底數へつくされぬ程でした。

此秩序立つた暖い情愛の漲つた家に育てられた繁野は、學術品行共に優等で、全校の模範となるべき生徒であります。

靖代の家も昔から家柄でした。靖代が生れた年迄は酒庫が三つもあつて、十幾人の酒男をつかつて華々しい暮しをした大きな酒屋でありました、それですのに日露戰爭が始まつた爲に、靖代の父は出征しなければならず、折角長い間遠方迄稽古に行つて多く

の上に置き、それから特に汚れたところは申までもなく一面に石鹼を塗りつけ兩手で輕く揉み其儘盥に入れて一日風も日も當らぬ所におき一日の後それを出し、少しも水に浸けず其まゝ板か石の上で充分踏み拔くのです、もしあまり乾いて居れば少し水をかけてもよいが踏む前に水につけると落ちにくいのです、一度踏んでからは何度も水につけて踏み、濁り水が出ぬやうになるまで繰り返しますと手で揉むより綺麗におちます。色ハンカチーフ、色もやうのあるハンカチーフを洗濯するには、始め鹽水に五六時間漬けておいて、其後普通の清水で洗ひます、かくすれば色は落ちもせず。早く褪めもせずいつまでも綺麗に使用が出來ます。

(二)料理の心得

牛乳一合と玉子一個の滋養分

牛乳一合の價を十錢と致しまして同じ價の玉子一個とを比較してどちらが營養に富んで居るかといふ事を研究しました。

	牛乳	玉子
蛋白質	約三三、四	三一、九
肪脂	八八、三	一一、八
溫量	一二一、七	四三、二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の費用をかけて苦しんで覺えた早作りの酒を仕込んだ處でしたので、靖代の家としては父の出征が難儀な事でありました。父より外に方法を知らぬ早作りの酒は其本人が戰地に行つては如何する事も出來ず、財産の大方はこの早作りの酒を目的に費した靖代の家では、是だけ苦心して仕込んだ酒を腐らしてしまはなければならなくなりました。靖代の父が戰場で働いて居る暇に、靖代の家は一日一日と衰へて行きます。

「これが成功すれば巨萬の富を得る事が出來る」

と空想を描いて居た父の留守中には、乳呑子の靖代を抱へた母と十一歳であつた兄の文雄とを殘して、奉公人は一人づゝ靖代の家を去りましたが、賢い靖代の母も是ばかりは如何する事も出來ませんでした。

父の凱旋といふ喜びの色が家中に漲つた時には、殆ど先祖から讓られた財産が失はれてしまつてゐました。これに失望した父は釀造業を見捨てゝ種々商賣を始めましたが、遂に一つも成功せずあれかこれかといよ〳〵心が迷つて焦れば焦る程狂ひが出來て一文の資本もなくなり尚其上に中風といふ面倒な病氣のために身體の自由を失はれ靖代の家は二進も三進も行かなくなりました。

一般としての營養價は牛乳の方が卵に勝つてゐますが養生としては其人々により體質や其他の關係に就ても考へなければならぬと思ひます。

南瓜の寄せ物

材料　南瓜　十二分の一、寒天四分の一本
水七勺　三杯酢

南瓜を湯煮し裏漉しとし寒天には水を加へて十分寒天の煮えたる時裏漉しの南瓜を交ぜ、煮え立ちたる後に火から下し、流し箱に入れて凝めます。のちとり出して二分位の幅で一寸位に線に切りそろへ、三杯酢をかけて出します。

枝豆の大根卸しあへ

枝豆を茹でゝハジキ出し、大根を卸し晒して醬油及び酢少量を加へ前の枝豆を此中にて交ぜ合はすなり、海老を茹でゝ加へれば更に好味でもあり、又、色取りも好くなります。

主婦の試驗

一、先づ玄關に入つて下駄の揃へ方を見ろ、
二、台所に行き雜巾の置方、箒の使ひ方を見ろ
三、便所に行き手洗鉢の水と手拭を見ろ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

靖代の母は父の看護をしながら今迄の身分も忘れて他家の縫物をして賃金を得んと夜もろく／＼眠らずに働きましたが、さうした悲しい日が五年續きまして運命の神はまだ／＼靖代一家を苦しめ足りないのか、靖代の六ツの時に父は貧しい我家の行先を心配しながら歸らぬ人となりました。

靖代の兄は我家の不運を思ふにつけて、十六の少年には堪え難い重荷を負ふて昔に變る我家の有様を以前の通りにしなければならぬと決心して上京しました、成功する迄は歸らぬ手紙も出さぬと誓つて――。

かうして母と二人淋しく暮す靖代は、貧しいために他の友のやうに新らしい着物も着られず、洗ひざらしのものばかり着て居ますのに、成績は繁野に劣らず、級中の首席で先生に大變可愛がられますので、友達の中では靖代を妬む者が多くつて何かにつけて靖代を困らせやうとして居ます。殊に意地惡の高子は靖代の家の貧しいのを嘲つては靖代の小さい胸を苦しめます。そして繁野も如何かして自分の味方にし度いと氣を揉みますけれど心の美しい繁野は何で心の直しくない高子のやうな者に從ひませう。唯一人ですけれど親切な繁野は何處までも靖代の親友で高子のやうな惡い友達が邪魔をすればする程二人はます／＼仲よくなります。（つゞく）

この三要點が完全であれば立派な主婦であります玄關に下駄や紙屑が散亂して居たり、雑巾が汚いまゝまるめてあつたり箒がなきな型になつて居たり手洗の水が濁つて居たり手拭が汚れて居たりする家の主婦は他の事も充分推察する事が出來ます。

汗を手拭で

群馬　大島より子

亂筆は御許し下さい私は一昨年の十一月から處女の友の愛讀者となりましたがお便りは今度初めてゞ御座います、私は群馬縣の片田舍に住む一處女ですが愛讀者となつてからは一部もゝらさず拜讀致して居りますがいつも／＼有益なる記事ばかりで私等處女をお導き下さいまして誠にうれしう御座います、此の頃は畑に出て終日炎天をもいとわず桑取に出で汗の出づるを手拭にてぬぐひ乍ら一日業を終り歸つてはなつかしい處女の友を讀むのを何よりの樂しみとして居ります、私等田舍娘をよろしくお導き下さい、其れに妾の村では毎年八月九月十月の三月の間大島梨と申して名産なる梨が澤山出來るのです、記者様いつかお出で下さいお待ち申して居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

涙の黒髪

細川風谷

肥後の國、熊本の町を纔かに離れた村端、海を見晴した土手の茶店、蜩の聲に漸く晝の暑も薄れて、軈は月も出づべき夕暮。

志『おたつさんお歸りかね』 辰『あイ』 志『暑いに能く精が出るのう』 辰『有難う』 志『まア、寄つて行かつしやい、本當におたつさんは親孝行だつて誰一人賞めねえ者無えだ……紛裝にも振にも介はねえで……』 辰『何有に私の稼ぐのなんか何んでもありませんけれど老婆さんは大變ね、この暑いのに……』 志『おたつさんや、一寸此方へ寄らつしやい、大變な塵埃だに』 老婆は眉に皺を寄せて娘の髪を見上げて 志『譯け無えだ、私、鳥渡撫上げて上げべえ』 老婆は後方に廻つて娘の塵垢だらけになつた髪を掻上げ

志『まア、何んといふ可い毛だらう、黒くツて、長くツて、恁麽毛を髢にしたら甚麽に可いだらうね』 娘『老婆さん、有難う、非常頭が輕くなりましたわ』 志『縹緻が可いから、餘計に引立つだよ』 辰『有難う、お庇げ樣で眞箇に淸々しましたよ』 澁茶を啜つ

福島縣處女會規則標準

第一章 目的及名稱

第一條 本會ハ會員ヲシテ日常生活ニ必要ナル智能ヲ磨キ體力ノ增進ヲ計リ婦德ノ涵養ニ努メ以テ健全ナル主婦タルヘキ修養ヲ爲サシムルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ何市町村處女會ト稱シ事務所ヲ何々小學校ニ置ク

第二章 組織

第三條 本會ハ義務教育ヲ修了シ現ニ何市町村ニ住スル年齡二十五年以下ノ者ヲ以テ組織ス但現ニ季節實業補習學校以外ノ學校ニ在學スル者ハ此限ニアラス

第四條 本會ノ會員ヲ分ツコト左ノ如シ

一、正會員 義務教育修了ノ時ヨリ年齡二十年迄ノ未婚ノ女子

二、特別會員 年齡廿一年以上廿五年迄ノ未婚ノ女子及年齡廿五年以下ノ既婚ノ女子

第五條 本會ハ部落ノ區域ニ依リ支部ヲ設置ス即チ左ノ如シ

何々支部 (主トシテ部落名ヲ冠ス)

何々支部 (同)

第三章 役員

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

總理 一名 會長 一名 副會長 一名

顧問 若干名 幹事 若干名

第七條 總理ニハ市町村長、會長ニハ小學校長、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

て少時休むだおたつは、賣殘つた駄菓子の荷を背負つて長い〳〵堤を我家に歸り行くのでありました。

父の德兵衛はおたつが十四の時、不圖ぶら〳〵病に罹かつて今では既う起居さへ儘ならぬ有樣、母はおたつが三歲の年、風邪が元で此世を去り、可愛想に未だ肩揚も去れぬ中から、父を養ひ、一家を支へて行かなければならなかつたのです、春の鳥、秋の花、おたつに取つては何の慰めにもなりませんでした、おたつは唯働かねばならなかつたのです渡る世間に鬼は無し、近場の人も不憫に思つて幾分の資本を拵へて吳れ、恁うして村から村へと每日重い荷を、纖弱い肩に背負て駄菓子を賣り步いて居るのです。

辰『お父樣、今歸つて來ましたよ』父『オ、おたつか、御苦勞御苦勞、さア〳〵早く上つて休むが可いだ』軈て足を洗つたおたつは　辰『お父樣、今日は平素より能く賣れたで、お酒も餘計買つて來ましたよ』

父が病苦を忘れるのは酒！おたつは父の喜ぶ顏を見るのが何によりの樂しみに每日一生懸命に稼ぐのでした、而し雨の日には稼ぐことが出來ませぬ、稼ぐことが出來なければ父の好きな酒どころではありませぬ、その日の煙さへ立てることができ兼ねるのである雨はおたつに取つて何よりも恐しいのでした。

今日は朝からの雨、貯蓄と言つては少しも無いおたつは、恨めしさうに空を瞰上げながら、父に知れぬやうほつと小いさな嘆息

顧問ニハ市町村吏員、小學校敎員、學務委員篤志婦人、神職、僧侶、醫師、警察官其他名望アルモノヲ推戴ス

副會長及幹事ハ會員ノ互選トシ其任期ハ二ケ年トス

第八條　總理ハ會務一切ヲ統理シ顧問ハ會長ノ諮問ニ應シ且ツ會員指導ノ任ニ當ルモノトス

會長ハ本會ノ會務ヲ整理シ且ツ會議ノ議長トナル副會長ハ會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス幹事ハ會長ノ命ニ依リ事務ヲ處理ス

第四章　會員ノ義務

第九條　正會員ノ義務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、學歷相當ノ補習敎育ヲ受クルコト

二、總集會、月次修養會其他本會主催ノ講演會、講習會等ニ出席スルコト

三、會員ノ必行事項ヲ勵行スルコト但必行事項ハ總集會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第十條　特別會員ハ本會ノ趣旨ニ依リ修養ニ努ムル外前條ニ揭ケタル會員ノ義務遂行ニ關シ特ニ援助ヲ與フルモノトス

第五章　事業

第十一條　本會ハ學德修養ニ關シ左ノ事項ヲ行フ

一、正會員ノ月次修養會ヲ開催スルコト

二、修養ニ關スル講習會及講話會等ヲ開催スルコト

三、産業ニ關スル講話會及講習會ヲ開催スルコト

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を吐くのでした。
父『おたつ、困つた雨だの』おたつの胸にはそれが種々に響くのでした、辰『モウ、今に止みますわ、』父『おたつ、酒のことなんぞ心配しねえが可いだよ、それ處で無えだから』おたつは首うなだれて、熟つと聞いて居ましたが辰『お父樣、濟みませぬ！私さへしつかりして居たら、お父樣に恁麼不自由はおさせ申さないのですが……何うか宥恕して下い！』おたつは血を吐くやうな思ひでありました。
父『おたつ、心配しねえが可いだ、心配しねえが可いだ、俺もう酒は止めたゞ』父も流石におたつの心を思ひ遣つては再び杯を手に仕樣といふ氣にはなれませんでした、おたつにはそれがなかなかに痛ましいのでした、辰『あゝ何うしたら可からう？』
おたつの眼には涙が一ぱいでした、父に泣顏見せじと、そつと蚊遣に顏を背向けました、仕樣こと無しの蚊帳に潜込んだ父は、何時か心地可さうに安らかな鼾の聲を洩らすのでした。その夜おたつは何時までも〳〵蚊帳の中で寐返りを打つて居ました、辰『左樣だ……』おたつは過刻茶店の老婆が――恁麼毛を髢にしたら甚麼に可いだらう――と言つたことを想出しました、辰『左樣だ、この髮を髢に……』と思ふと、水を浴たやうに身の中がぞつとしたのです、その毛の一筋〳〵に母の愛が籠り、父の情けが流れてゐるのです、我身を飾るに何のこの黑髮、さら〳〵と惜しいとは

四、裁縫手藝、作法、料理、育兒、看護、家事等ニ關スル講習會又ハ講話會等ヲ開催スルコト
五、敬老會、謝恩會、追悼會等ヲ行フコト
六、敬神崇祖ノ實ヲ擧クルコト
七、家庭改善及地方改良ニ關スル展覽會、品評會ヲ開催スルコト
八、婦人ニ適當ナル地方改良及公益事業ノ援助ニ關ルコト
九、婦人ニ適切ナル慈善救濟事業ノ援助ヲ爲スコト
一〇、風紀ノ改善言語風俗ノ改良ニ努ムルコト
一一、視察旅行ヲ行フコト
一二、其他修養上適當ト認ムル事業ヲ行フコト

第十二條　本會ハ體力養成ニ關シ左ノ事業ヲ行フ
一、體操、庭球、薙刀等ノ練習ヲナスコト
二、運動會、遠足旅行等ヲ行フコト

第六章　集會

第十三條　本會ノ定期集會ヲ別チテ総集會及月次修養會ノ二トス
第十四條　総集會ハ毎年二回以上之ヲ開キ會務ノ報告、重要事項ノ審議、役員ノ選擧等ヲ行フモノトス但會長ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時開會スルコトアルヘシ
第十五條　月次修養會ハ毎月一回以上開會シ學德ノ修養及體育ニ關スル事項ヲ施行スルモノトス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

思はないのでありますが、それては艶やかに產付けて下すつたお父樣、お母樣に申譯けがない、あゝ、妾は何うしたら可いだらう？父の夢が覺むる頃には、酒屋へも行かねばならず、米屋へも、薪屋へも、味噌、鹽、醬油……おたつは決心をしたのです。蚊帳を脫け出したおたつは、母が片身の鏡臺から父の寐息を窺ひ乍ら窃つと剃刀を取出したのです。意を決したものゝ、淚はそれからそれへと止め度もなく流れ出るのでありました。

父の眼覺ぬ中と、古びた破傘差して表へ出たおたつは、土手の茶店へと急いだのでありました。其夜父の膳には一本の德利が乘つて居ました、おたつの手に依つて琥珀色の匂ひの高い酒が、なみ〱と杯に濺れたのでした。

父『おたつ！何時見ても惡くねえな、俺ア生き返へッた氣がするだよ』

父の喜ぶ顏を見たおたつは、既う何も彼も忘れて了ひました。お父樣の爲めに生きてゐるこの私！、お父樣に捧けたこの生命！丈なす綠の黑髮も、おたつはさら〱惜しとは思ひませんでした。靄々たる和氣は一家を繞つて、歡の聲は遲くまでおたつの家から洩れて來るのでした。

おたつは久しい間、頭に冠つた手拭を取りませんでした――けれども何時しかこの事が國主のお耳に入つて、おたつには長く三人扶持を下されました。それは正德三年十二月廿六日の事。

第七章　經費

第十六條　本會ノ經費ハ會員ノ出資、會員ノ共同作業ニヨル收益、基本財產ヨリ生スル收入及市町村ノ補助等ヲ以テ之ヲ辨ス

第八章　帳簿

第十七條　本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一、會則　二、會員適齡名簿
三、會誌　四、會計簿
五、備品臺帳　六、修養會出席簿
七、役員名簿

第九章　賞罰

第十八條　本會々員ニシテ克ク會則ヲ守リ他ノ龜鑑トナルヘキモノハ之ヲ表彰ス

第十九條　本會々員ニシテ會員タルノ義務ニ違背シ若シクハ素行修マラサルモノアルトキハ互ニ忠告シ尙改悛ノ見込ナキトキハ役員ノ詮議ニ依リ除名スルモノトス

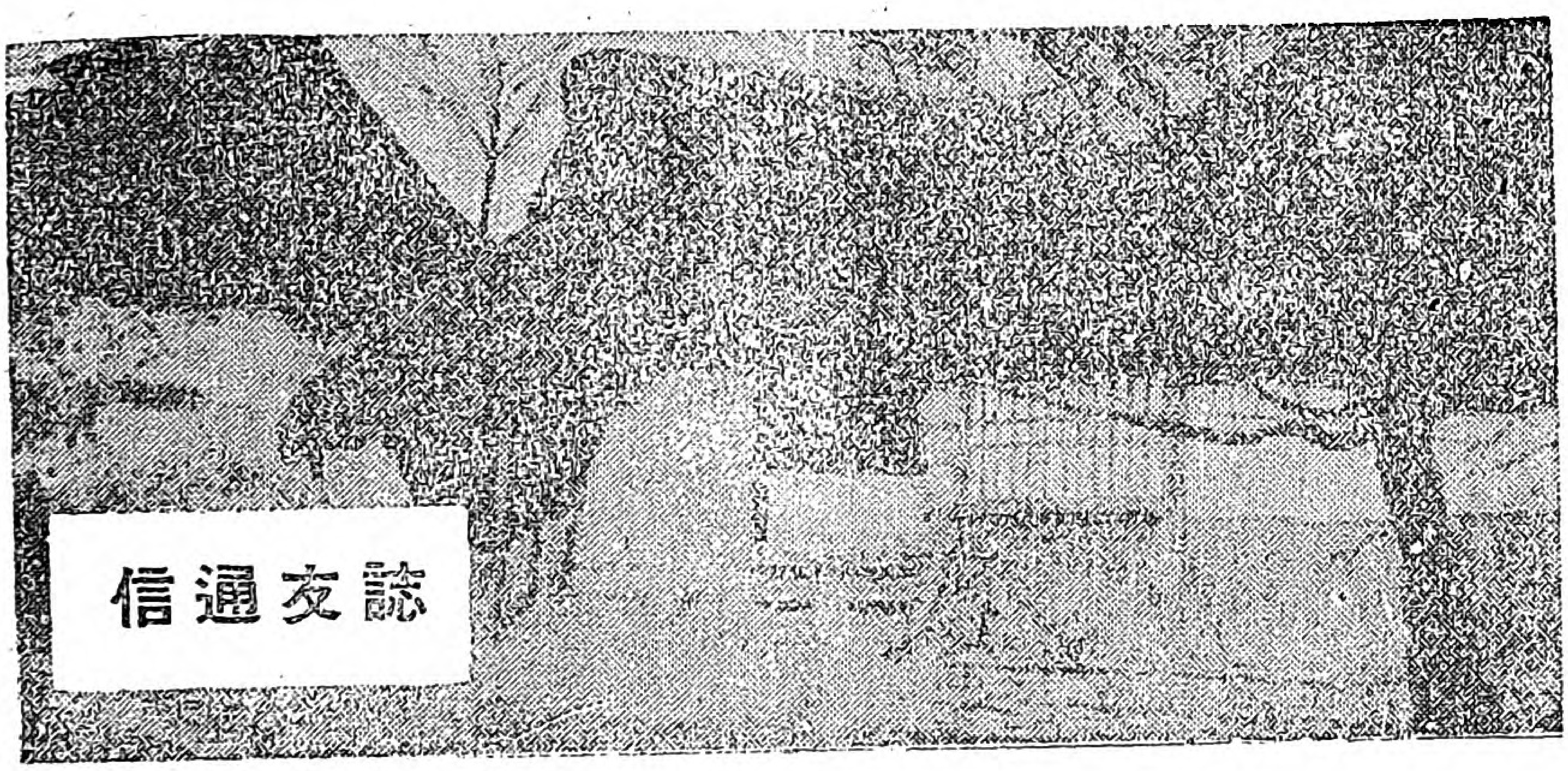
第二十條　前條ニ依リ除名セラレタルモノニシテ改悛ノ實擧レルモノハ役員ノ詮議ニ依リ再ヒ入會ヲ許スコトアルヘシ

第十章　附則

第二十一條　本則施行ニ關シ必要アルトキハ會長ハ細則ヲ設クルコトヲ得但此場合ハ總理ノ承認ヲ受クルヲ要ス

第二十二條　本則ノ改正ハ總集會ニ於テ出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ行フコトヲ得ス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



皆さんからのお便り

一、工場の一處女より

田口わか子

世間一般の人から工女は賤しいものと思はれて居るのは何故でせう、人間と生れた以上神聖な勞働に從事する私共は決して恥づる事はない筈ですのに卑しめらるゝのは、勞働に從事する私共があまり人格がなかつた爲ではないでせうか。もしさうであつたなら今のやうに勞働問題が盛んになつた時に早く改めなければならぬと思ひます。

第一は時間を空費しない事であります、勞働時間の短縮された此の頃は朝起きて出勤するより夕方工場から歸つて床に入るまでに女として一仕事する位の時間は充分にあるから時間を無駄に暮してはなりません皆樣の中には折角工場で私達の爲めにお頼み下すつた先生にも敎へを受けずそれかといふて益になる事もせずに暮してしまふ方もあります、一度散つた花は再び以前の木につく事は出來ません若い乙女時代も何時の間にか過ぎてしまひます、後

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

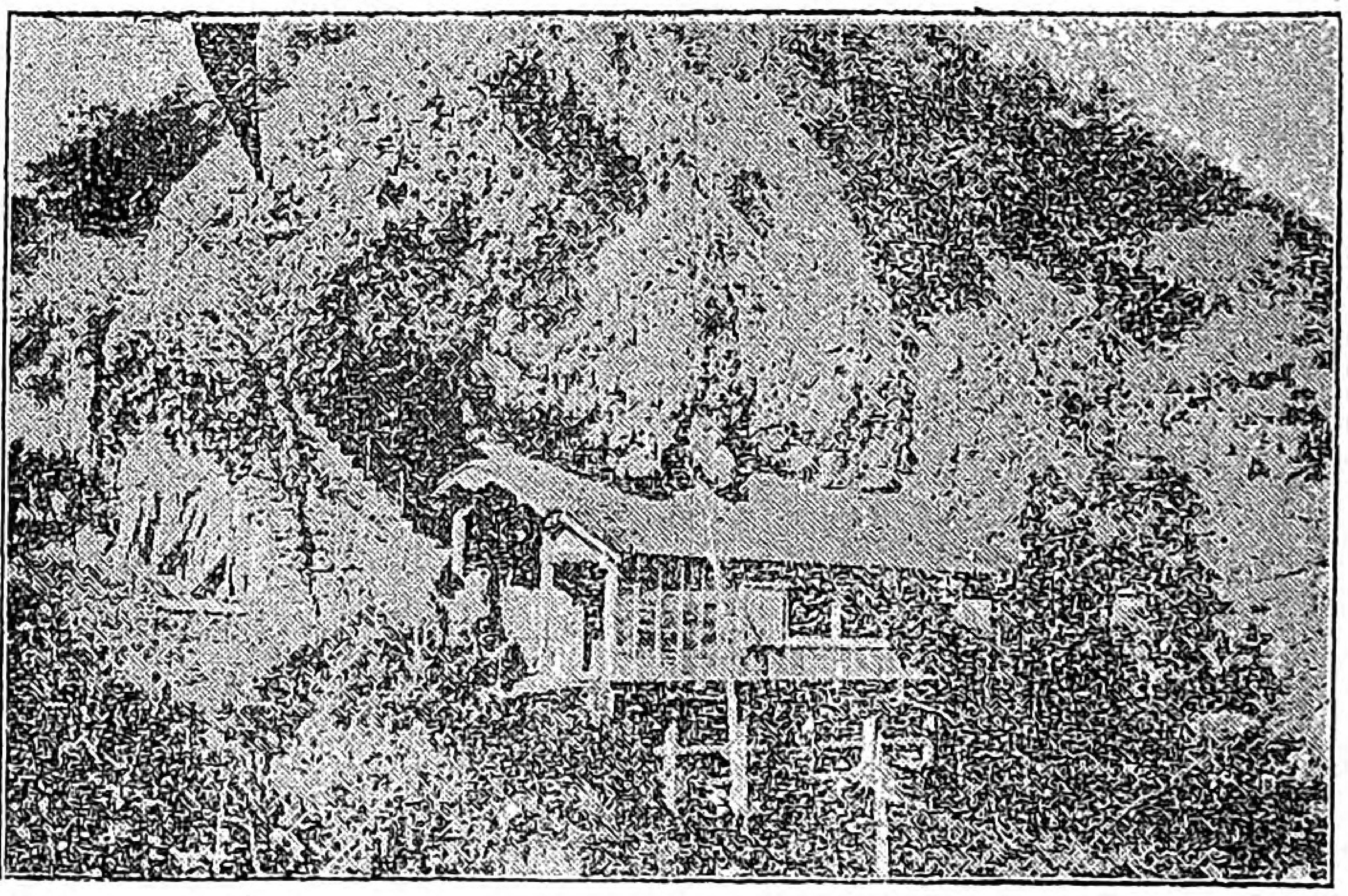
になつて惜んでも間に合はない事です今の中に暇さへあればお針の稽古をしなさい友達と話するにも有益な事を話し合ひ言葉はきれいに下品な行をせぬ様にしなければなりません、私等が一家の主婦となつた時夫を助け子供を育てゝ行けるだけの修養を積んでおかねばならんと思ひます。私共も堅い心をもつて強く優しくまじめに働いたなれば立派な婦人となれませう。

二、私の好な農村の諸姉様に

畠　雪子

私の好な農村の諸姉様達よ暑い暑い夏の日に毎日のお務めも弛み勝ちで體は少からず苦痛が起りやすいでせう。けれども働くのは人の本分である事をふかく胸に刻して一心に働いて折々は平和な楽しみも得らるゝやうにいのります。

伊豆名所石室權現



（關屋靜岡縣知事寄）

一日炎天の下に汗になつて働き入相の鐘の音に送られて家路にいそぐ時澄きつた空にまばたく星を仰いでごらんなさい、その時諸姉様方の胸には如何なる思ひが漲りますか、まだうら若い處女の身には希望に滿々して居るあの星を眺めた時一種の言ふに言はれぬ感に打たるゝ事でせう。やさしい天女の胸に光る寶玉がハラ〳〵と散つたやうに輝く星は一日の汗の結晶を努力の賜として安らかな眠をあたへて下さる事でせう恵みの天地に自然の美を友として限りない幸福の中に前途に新らしい光明を見つめて竿さす舟人のこぐまゝに或はゆれ或は走り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

或は岩につきあたりあやふき難所も通りぬけて待ちに待つた光明のもとに走りついた時諸姉様の胸には過去の苦しみもなやみも打ち忘れて唯神より受けし幸福の中にほゝ笑む事でありませう。

どうぞ私の好な農村の諸姉様よ如何なるお苦しみも打ち忘れ神聖な勞務にお盡し遊ばすやうにいのります

三、處女會の模樣

尾松みする

私等が待ちに待つた例會がありました時節柄ゆゑ大變暑かつたのです、然し熱心なる我が會員は九時迄には四十五名の出席者がありました、これより開會例の通り會長先生の勅語捧讀續いて處女會訓の強くやさしくまじめに働けといふ事に就て御訓諭下され夏季衛生の心得やら誠に私達にとつて心得ねばならぬ事ばかりを親切にお敎へ下さいました。

そのお話がすんで後井上先生の實用的の實習で女袴襞取り方をお敎へ下さりました、是でお晝となり、夏季飲料の拵へ方として飴湯を拵へて會員一同味よく頂きました、そして一時間の休息の後會員の希望にて花かんざしを敎へて戴きました、出來上りが誠に綺麗で色とり〳〵の美しいかんざしを各々の頭にさして嬉しさうにいそ〳〵と家に歸りました。

四、樂に樂なし苦に苦なし

丸山すみ子

毎月の誌上に先生方私共農村處女に御同情下さりまして誠にうれしう存じます、記者樣の御仰の如く海山へ避暑遊ばす方もあれば、私共の樣ににえかへる田中に働くものもあり、世の中は樣々なれど、(樂に樂なし苦に苦なし)とか日中の燒くが如き暑さにかへ夕べの凉味は又格別です、或紙上の格言に「牛乳を配達する學生は之を飲用する學生よりも健全なり」と暑さを避る方よりも鬪ふ方の方が健に暮せる事と存じます、御皆々樣暑さに負じと共に〳〵國のため家のため働きませうそしてお米や繭をたくさんとりませう誌上の御皆々樣今後よろしく御願ひ申上ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

相馬めぐり

福島縣 南湖公園

△福島縣相馬郡處女會行脚▽

□

福島縣では七月二十六日縣訓會で處女會の設立の標準を示しました。(別項) 相馬郡に於ては、この際一層婦女會の發達を促したいとのことで、私は中央部理事として七月十五日から二十二日まで一週間同地に出張致しました。

相馬郡は二宮尊德翁と因緣深い土地で、此行の野馬追では、日本でも珍らしい行事となって居ります。十五日は小高町の半谷清造氏のお宅に泊めていたゞきました。此所には篤志家杉山元次郎氏も居られ、いろ〳〵お話を承りました。あくろ朝小高神社にお詣りをしまして郡役所の所在地の中村町にまゐり、一足飛びに八幡村に參りました。此村は郡でも富んでゐるものですから、處女會も從つて上品でありました。附近の村の處女會員もあつい最中を一里二里の遠方から集りました。三百五十人もありましたでせう。「强く優しくまじめに働け」について二時間ほどおしやべり致しました。

□

それから F村町の處女會と婦人會との合同の會にのぞみまして「住みよき郷土」についてお話を致しました。郡長も中學校長もみんな大變盛んでした。名高い加藤とくといふ婦人も居りました。蓄音器レコード「野の幸」は大變喝采でした。

其の夜は伊勢屋といふ旅館にとまりました。見はらしのよい家で、目の下を川が流れてゐます、あすこで踊りが立たりますと校長さんは仰言る。

翌くる日再び小高に參りまして、婦人會主催の講演會にのぞみました。主婦、お婆さん、娘さん、子供さんといふあつまりで大變盛んでした。「海女のお話」もよく心に受けてくれました樣でした。

其から汽車で原の町にまゐりまして、停車場前の旅館にとまりました。此所は無線電信で名高い處です。毎日苅宿郡視學が案内して被下つたことも喜びです。

其から石神村に參りまして青年と處女に一場のお話を致し、校長さんのお宅で、名物の鮎の御馳走になりました。お庭の樹に、ヽヽヽセキレイが巣をつくつてゐるのを見ました。

其から磐城太田に參りました。此所はさびしい所でした。旅宿がないので田圃の中のもと旅館をしたといふ家に泊めて貰ひました。お婆さん一人でよく手が廻ろと思ひました。疲れて早く寢ますと、近所の酒のみがとなりでわい〳〵さわいで困りました。私は禁酒家です。

□

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

翌くろ日は三郷小學校と太田小學校で青年處女に對して處女訓のお話しをすませ、其から小高にまゐりまして、小松屋に泊りました。水谷校長、豊田訓導が來られていろ〳〵面白いお話を伺ひました。あくろ朝人力車で福浦村にまゐり青年團に對してお話致しました。題は「青年の特長と欠陷」まじめな青年が多いのを喜びました。

其から金房村にまゐりました。此處が今度の旅行の一番の目的地であるのです。といふのは、處女會の發會式なのです。一村總出の勢で其は〳〵賑やかでした。この日は次の二項の申し合せをしました。

一、祝祭日には國旗を立てるを

二、頭をよく洗ひ、下着も洗ふこと

水谷校長は會長に豊田氏は副會長になられました。餘興にバイオリンとオルガン合唱の「野の幸」がありました、お琴の六段もお上手でした。夕暮日ぐらしの聲に送られて、この平和な里を後にし、再び福浦村に引返し、其の夜は蛭澤神社神職佐藤政博氏のお宅に泊めていたゞきました。この神社は界隈での名高い神社で、境内は樹木茂り、もろ〳〵の鳥が巣くひ神々しくあります。晩附近の校長さんなど、懇談致しました。

□

福島縣相馬名物「野馬追ひ」

相馬郡では昔から野馬追ひの行事を致します。昔の武士の練兵でせう。

翌くろ朝四時に起きまして井田川浦の舟遊を試み、醉月亭で名物の鰻の御馳走になりました。井田川浦は周圍が三里あまりの靜かな湖沼で、汀に葦が茂り、其が風にさわ〳〵と鳴り行々子は絶えず鳴いてゐます。其の間を釣り舟がゆきゝする光景は何んともたとへやうない景色です、其から停車場に引返し、原の町に參りました。

此所では午前に婦人會、午後に青年會と二回講演を致しました。婦人會は發會式でした。町長さんも特に見えました。

是で相馬郡の講話は了へましたが、双葉郡の長塚處女會が非常に働いてゐますので、あくる朝の一番で長塚村にまゐり、見はらしのよい學校で處女訓のお話を致しました。大谷會長、岩東副會長は非常のお骨折りをして下さる。附近の校長さんも大抵來られました。この學校の圖書館はよく出來てゐました。

一瀉車後らせましたので、あとは一直線に上野まで。暑中の旅行で、少し疲れましたが、然し純潔な地方の方々と親しくお話しをすることが出來たうれしさは、忘れろことが出來ません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

節婦と孝子とあゝ床し（信州穂高村高山氏宅にて）

七月十日紀念の為うつす（右は天野主筆）

處女會評議員　細川風谷

正面孝子正治君　高山きん子氏（母君）

床かしき一家

各地に旅行をして、模範の青年や處女たちにお會ひすることは、何よりのうれしいことでございます。七月十日長野縣南安曇郡穂高村に參りまして、世にも稀な節婦高山きん子さんをおたづねなし、一晩お宅に泊めていたゞきましたことは、生涯での思ひ出でございます。

高山きん子さまは、當年とつて四十一歳十九の時高山家へお嫁入りなされましたが温厚の天性を以てよく夫長三郎氏を内助して近所でも評判となりましたが長三郎氏は、どういふものか身體が弱く、間もなく、身體が不自由になりました。親戚では、夫が全快の見込がなからうといつて、

◉離縁をすゝめましたが

きん子さまは、一旦夫婦の縁を結んだものが、夫が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

病氣だからといつて輕々しく別れられるものでないと一言の許にお辭退なされました。

御病床に居られます夫は固より、子供さん三人、其に舅姑迄、きん子さん一人の腕で養つてゆかれるといふことは、並大抵のことではありません。幸にお家では、千石どーしといふ籾を落とす道具をつくつて居られますので、其を朝から晩までかゝつてこしらへまして、夜明けを待つて賣りにゆかれます。

大てい二時頃に起きて、松本市の方から岡谷近所の在を廻られますが、時とすると、一日に十五里位あるかれます、重い荷を背負つて雨の日風の日には、ずいぶんつらいことがあつたことゝ思はれますが幸に身體も丈夫でありましたので、十年一日の如く、行商をなされました。

「ずいぶんせつなかつたことがありませうね」ときゝますと、きん子さんは、

『別にせつないこともありませんでしたが、一日追ひはぎに會つてすんでのことに、賣上を取られさうになりましたが、この時が一番恐ろしうございました。其は冬の夜明けでした。みんな千石どーしを賣りつくして、歸り途につきますと、妙な男が來まして、あとつけて來ます。是は大變と、私は一つの財布をお腹に入れ、一つは少し入れて懷中に入れ、若し飛びかゝつて來たら輕い方を與へて逃げませうと思つてゐましたが、こんな惡人に只の一錢もとられるのはつまらぬ、まゝよ逃げませうと

◎口を結び、乳の下に手をあて、背中の荷をほうり出して一目散に逃げましたものゝ廿丁も夢中で逃げまして、ふり返つてみると、その男は參りませんでした。是が一ばんこわくありました』

とのことであります。

長三郎さんがなくなつた時には、借金が少しございましたが、もうすつかり返濟して、今では土藏をもたて、八十になるお姑さんと三人、水入らずのむつまじ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

いお暮らしです。大正五年二月十一日赤星長野縣知事はきん子さんの行ひに感じ名譽の表彰狀を下さいました。寫眞はその表彰狀を手にしてゐる所です。

尙節婦に愚かな子は出來ません、長男の正治君はことし二十一歳になりましたが、その溫厚にして親孝行の志の深いこと、實に、よそのみる目にも床しいのです。何事もハイ〱とお母さんの仰せをきかれ、臺所の用までいそ〱とせられます。實になんとも言へぬをとなしいゝ青年です。

高山家には、いつも春風が吹いてゐます。私も一晩とめていたゞき、實に何とも言へぬ床しい心になりました。(あまの)

特別懸賞募集

一、一番うれしかつたこと
一、一番悲しかつたこと

○以上事實をかくこと
○なるべく短くつめること
⊙〆切九月二十五日
　賞品　鏡、ゑはがき、フキルム其他

呪ひから希望に

府下　田中みどり子

記者樣暑氣嚴しい此の頃御變りもありませんか。私は府下南多摩郡由木村の南隅の一角にゐる淋しい〱片田舍に住む處女であります。友達も少い此の寒村に、肩に鍬して急傾斜な山路を辿つて作物を培ふ身です。學校は家事上の都合で泣き〱十四の春退學をしてしまつたのです、其の後自習で勉强しやうと思いましたけれど、矢張り思ふ樣には出來ませんでした。唯々青葉の影に默々として小鳥を相手に、作物の成長をのみ祈る身でしたが、あゝ悉くした樂しみ少い身にも、神樣の引き合せでせうか、或る時ふとした機會に五月號の御誌を拜見しました。あゝ其の時私は身も心も躍りました。なんと云ふ優しいなんと云ふ眞面目なそして處女の友の名に相應しい御誌でせう。今まで種々な雜誌も見ましたが、私等處女の身には唯形式にのみ驅られた樣に思つて居りましたが、あゝ此の御同情深い、眞面目な、潔白な……おゝ處女の友よ、私等の味方をして下さる。私は此程切實に感じた事はありません。或る時は現在を呪ひました。境遇を悲觀もしましたが、御誌を拜見しましてからば、呪ひから希望に悲觀から光明へと辿り付くことが出來ました。

記者樣私は六月號からの處女の友の愛讀者です。日々發行の處女の友がどれほど待遠しいか知れません。これからは無二の親友、處女の燈臺としてどこまで御情深い御教を願ひます。それから私が處女の友を拜見しなかつた樣な方が世間には澤山あらうと思います。どうかこの貴い御誌で其の人等を救つてやつて下さいまし。終りに臨んで記者樣方の御健康を祈り御社の發展を望みます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

田園生活の思ひ出

本會評議員 吉川民子

海拔三千尺餘の高原である。夏とは言へど、まだ春の色、豐かにて紅白、黃、紫、色さま／＼の美しい花が、野山一面に咲き亂れて居る、見渡すかぎりの桑園は、新綠の香に充ちて今出たばかりの若葉を吹く軟風に弄ばれて居る、梅、桃、梨、林檎かず／＼の果樹も今年の春は剪定をよくしたので實花多く小い實が澤山に附いて居る、飼育の蜜蜂は羽音微かに花から花へ飛びまわつて一しほの趣きを添へて居る。一號、二號、三號、四號と其れぞれの蠶室には掃立間もない蠶兒が今年の收穫の豫望を背負つて第一の眠りに就いて居る多くの雇人は、蒔き物やら、手入やら、桑の葉摘みに忙しくざわめいて居る、私も筒袖の勞働服身につけて草とりや、果樹の虫除りにかゝる冬の淋しさに引かへたる夏秋の賑はしさ。今わが農場の全盛を見るにつけても思ひは忽ち五ケ年の昔にかへる

最初夫がこの事業を企てゝ實地を此處に見に來た私は一見しただけで戰慄とした。人家を離るゝこと四方二里の山奥、峨々たる山嶽にとり圍まれてゴー／＼と谷底深くひゞく水音、果てしもない茫漠たる原野、こんな恐ろしい處に住むことが出來るであらうかと言ひ知れぬ恐怖に打たれて決心の旨を答へるまでには幾度も躊躇した。

しかし多年の理想を實現せんとして苦心慘憺して居られる夫に對して聊かの理由によつて、これを拒む勇氣はない、いさぎよく決心すると同時に奉職の女學校も辭職した。

多くの書物も賣却し、又友人や生徒に分けあたへ百姓の生活に用なき絹布の衣類、これも皆賣り拂つて、木綿着物ばかりとし、袖は切て筒袖とし袴は裁付けに縫ひ直した、創業當時この姿で野に働いて居る我家族の風など見て『海老茶袴のお百姓』と道行く人は冷笑した、引移つてこゝに五年小屋がけの開拓時代から今になるまでの辛苦は並一通りのことではなかつた。

こんな事など思ひ回らして居ると俄に向の方にわー／＼と人のさわぐ聲がきこえる。

回蜂蜜の分封

見れば今日晴朗の天氣を機として飼育の蜜蜂が分封を始めたのである幾萬といふ蜂群が一時に巣箱から出

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て中天に渦巻いて飛んで居る實に壯觀である。働く人達も急ぎ來て見物して居る。其中に二三頭の蜂が小高い樹の枝に止まつたと思ふとだんだん群が集まつて來て眞黒く一團となり上を下へと動いて居る、丁度鍋でも伏せた位の大きさに團まれた一群「さあ女王を見付けろ」と人夫等がさわぐ、分封時の勢揃ひで二時間餘は此處に止まつて居ることが知れる。蜂の飼育に慣れた姪が新らしい箱を持つて來て靜かに手で掬ふては箱に入れて居る。女王は大段體大きく羽の長い立派な蜂で一目見て見分けがつく、女王を捕へて箱に入れ樹の傍に巣箱を置いて一同退いた。

回王蜂から離れぬ團體力

女王さへ入れておけば、どれほど多數が出て居ても他へ飛ぶ氣遣ひはない。蜂の團體力といふものは實に強固なものである、一昨年始めて種蜂の群を二箱買ひ入れてこの農場に置いた、昨年の春から夏へかけて一箱から三つ位の團體が分封して本年はもはや七箱になつて居る、これが本年二回目の分封で各箱から三團體分封すれば本年中には二十箱に近い蜂群が得られる。

回搾つた蜜が大がめに一盃

氣候が次第に暖かくなり、山の麓から花が咲き昇つて春の始から秋の末まで絶え間なく蜜の採集には此上なく養蜂には倔强の土地である。六箱の蜜を搾つて、大がめに一ぱい、瓶詰めにして諸方へ贈り物にもし、尙砂糖代用にも隨分使つた、本年からは蜂蜜の收入も計上される。この向きならば設備さへよくすれば百や二百の箱は飼育が出來る、外國の或土地では婦人が蜂を飼つて莫大な收入を得るときいて居る、なるほど農家の副業としては面白い業である。

回子供からぐみの御馳走

家の後ろには水車がある、いつも變らずくる〱〱と水のまに〱回つて居る、其傍に大きなぐみの樹があつて粒の大きい眞紅の實が今眞盛りに照つて居る、二人の男兒が每日面白いぐみ採りを遣つて働く人々にぐみの饗應をする、一枚の蓆と笊とを持つて行て一人は樹に昇つて木とゆすり、一人は下に蓆をうけて忽ちのうちに笊一ぱいのぐみを採集し小高いところに陣取つて「オーイオーイ」と人々に合圖をすると畑に在る人々は合點して一散に驅け集まり草の蓆に團欒して主客共に舌鼓を打つて居る、こんな愉快は都會生活の人が夢にも味ふことの出來ぬ田園生活の賜ものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會婦人會主婦會一覽（其八）

島根縣（續）

名稱	創立年月	會員數	會長氏名
八束郡			
法吉村若葉會	五、一	二二	玉井コウ
加賀村處女會	四二、一	三〇	欠員
野澤村處女會	四四、一一	一一六	森脇ミツ
片江村少女會	四四、一一	一一二	小草ハツ
美保關村四部處女會	元、一〇	二六	欠員
木庄村處女會	三、四	一三一	正井義之亟
朝酌村少女會	四二、八	一五三	寺本リヤウ
古江村少女會	四、一〇	九八	田關カメノ
佐太村處女會	六、一	四〇	森脇益枝
美保關村淑女會	四、一	五五	杉浦眞治
喜東村處女會	四五、四	五一	伊藤トキ
乃木女處女會	四〇、四	四五	三成モト
玉湯村少女會	四四、一	一〇〇	長谷川象子
來待村少女會	四、一〇	一二五	勝部フジ
宍道村少女會	二、四	一二〇	小豆澤マツチヨ
波入村處女會	三、四	二五	門脇喜美
二子村處女會	四、一二	五〇	平野カメ
大野村處女會	六、一二	三五	土治忠雄
伊野村處女會	四五、二	五五	山野保德
森山村少女會	三、九	四四	早田サク
美濃郡			
東仙道村處女會	四三、七	六〇	福知榮次郎
高津村神田處女會	四五、四	六四	弘中ヤヨ
吉田村處女會	三、六	一五二	和泉又次郎
仁多郡			
布勢村處女會	二、七	七九	佐貫シゲノ
三成村處女會	五、七	六五	中村フサ
龜山高村龜山高處女會	四四、九	六七	藤原トヨ
龜山高村高田尋常小學校女子卒業生會	四二、一一	一一八	岩田リヤウ
鳥上村處女會	七、三	三八	恩田君野
横田村處女會	三、一二	五九	糸原善太郎
八川村尋常高等小學校女子卒業生會	四二、二	九八	松浦準三
馬木村處女會	六、二	六五	青木實三郎
溫泉村處女會	七、二	三五	平井常四郎
安濃郡			
富山村處女會	四四、四	五〇	加藤セン
佐比賣村多根處女會	元、八	二五	森山トヨ

山口縣

名稱	創立年月	會員數	會長氏名
大津郡			
宇津賀村津黃處女會	六、一二	四三	山本仲江
深川村河原婦人會	元、二	四〇	藤村キク
油田村處女會	六、二	八六	西村彌一
和田村處女會	七、二	七九	水沼正一
森野村和佐神浦處女會	七、二	五四	大石谷五郎
同村森平野處女會	七、三	四三	原新太
家室西方村地家屋處女會	七、三	五一	松田延三
同村沖家室處女會	七、三	七五	西山雅助
同村小積處女會	七、三	三〇	土井孝種
同村外入處女會	七、三	七二	山田昱輔
同村西方處女會	七、三	八五	泉兵治

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大島郡

日良居村日良居處女會	六、七	二〇〇	太田重勝
安下庄町安下庄處女會	七、二	一五六	大野敏郎
同町安西處女會	七、一	一一〇	神木仙太郎
平郡村西處女會	五、一二	六〇	中野權助
同村東部處女會	七、一	九二	仙崎貨之進
久賀町處女會	五、四	一六五	山元只助
蒲野村椋野處女會	五、二	五四	河井信二
同村三浦處女會	六、一二	九六	窪田直治
屋代村處女會	七、二	一〇四	藤井卯一
小松町處女會	七、二	九〇	神村五郎左衛門
中浦村沖浦東處女會	四五、二	一一〇	佐村經一
同村沖浦處女會	六、一二	一三四	井川淺右衛門
同村沖浦西處女會	七、三	八〇	黑田禰平

愛媛縣

南宇和郡

西外海村内泊婦女會	二、一二	六三	酒枝イシ
中泊處女會	七、三	三六	吉田ハツエ
内海村平山婦人會	四、一一	五八	貫藤ヨリ
東外海村中玉少女會	三、一	一一	我妻直
一本松正木處女會	七、八	五	吉良勇也
麻生處女會	六、一	七六	佐川龜太郎
宮内處女會	五、五	九二	中島辰治郎
磯部村處女會	五、二	九五	龜井宮次郎
廣田村處女會	六、二	六七	小曾根ハル
高市處女會	五、五	二七	武田綾女
玉谷處女會	七、三	一〇	岸田朝人
野中處女會	五、四	三三	仙波林三郎
中山處女會	五、五	一六四	稻川シズ
梅花處女會	四三、七	二五	須原ソメヨ

伊豫郡

下灘村處女會	五、八	一一五	矢野盛吉
佐永太村處女會	六、七	一〇六	松本萬三
灘處女會	六、四	八四	伊達通修
翠婦女會	四、一〇	七七	岡本藤枝
南山崎村處女會	六、五	六四	越野玉樹
大平處女會	六、五	四五	武野通定
北山崎村婦女會	四四、七	一二五	宮内通哲
郡中町處女會	五、八	一六〇	重松親正
郡中村婦女會	四四、五	二〇〇	赤星彌一郎
北伊豫村處女會	五、九	一八三	向井輝一
岡田村處女會	五、五	一〇三	三好善太郎

越智郡

岩城村婦女會	五、一一	二一〇	菅誠齋
宮浦婦人會	四、六	七	菅千代子

東宇和郡

伊延處女會	七、二	二七	高岡シゲ子
笠置村婦人會	五、二	三〇	山本マチエ
渓筋村婦人會	五、七	九〇	土居丑太
中筋婦處女會	七、二	二五〇	三好ヒサヨ
横林婦女會	二、九	九四	萩森ノブ
芝[illegible]會	七、四	四五	能仁德成

募集

一、處女會婦人會の寫眞
二、孝子節婦模範處女
三、婦人會處女會集會の模範
四、諸國の珍寫眞の類

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

〔賞〕

○働いた賜

香川　富田登羅

靜かに降りそゝぐ五月雨に早苗はすい〳〵とのびてゐる、簑笠のかいがいしい姿の人々がうれしさうに田植の準備をしてゐる、學校のやすみ日を幸に人中にまぢつて田植した、さすがに植田に下りた時はあまりよい氣持ではなかつた、がともすると人に遲れるので一生懸命になつた。一退りのぞきの後見ると早きを競ひしため大分曲つてゐた。あゝしまつたとこんどは綺麗に早くにと心うばはれて夢中であつた。いつの間にやらせまい山田は植えをはつた。時は正午で腹も大分減つてくるし腰のあたりもだろくなつてきたがこんな事をいつたら力なしと笑はろゝかと思つて、辛抱してゐた、歸つて腰掛けて晝飯をたゞいた時の味は又かく別であつた。夕ぐれ湯を浴びて糊つきの着物に着かへた時は何とも言へない感じがした。働の賜は今受けたと思つた。

（評）大へんよく出來てゐます。

〔賞外〕

○田舍の方がつく〴〵美しい

東京　田村百合子

青葉若葉の繁つた木蔭に青い毛せんを敷きつめた樣な草の上に青々とした稻の穗をながめつゝ樂しく暮すみな子樣、私は貴女のお便りを拜見して一入田園に働く處女の方々を尊敬しますと同時に廣々した天地に樂しく働く處女の幸福をつく〴〵と羨やましく思ひます。都の端れに住む私は朝早くから夜遲くまで氣笛の音にむかへられ氣笛の音に送られて終日大なる建物の中に世間と離れて、働いて居ります。

夕方はボーとなる氣笛の音に送られ老若男女職務の高下を問はず皆一日の務を終へて家路に急ぐ樣は貴方の想像も出來ぬ程氣の毒らしく思はれます。

（評）同情ある文章です。

○朝露にぬれた風情

熊本縣　浦田芥子

其後お變りも御座いませんか、田植から甘諸植と引續いて多忙を極め、つい思ひもよらぬ御無沙汰致しました。どうか御許し下さいませ、御妹樣のちゑ子さんも定めて御壯健で御成長の御事と喜んで居ます。あの可愛らしい御姿が目の前にちらついて愉快でたまりません。

此の頃は父母と一人の妹と毎日田畑に出て働いて居ますがほんとうに田園生活ほど氣樂なものはありません。朝には露を踏んで出で夕べには星を戴いて歸る此に言ふに言はれぬ樂しみがあるのです。殊に朝風のそよ吹く頃田園に出て農事につとむる心持は何とも云へません。日中は餘り暑いから少し早く歸つて晝休みをしますが晝飯が終ると例の處女の友を讀むのを唯一の樂しみとして居ます。隣の菊江さんも毎日元氣よく農事に勵んで居られます、晩には二人で面白い話などして愉快に遊んでゐます。

もう朝顏の花が二ツ三ツ咲き初めまして朝露にぬれた風情の床しさは私共の寢ざめの興味の一つとなつてゐます。下手な寫生をお目にかけます拙い筆づかひながら庭の朝顏の美しさを想像して下さい。

（評）いかにもたのしさうです。

○夏の一日

三重縣　鈴木靜

だん〳〵と東の空が明ろくなつて來ました、家々の戶をくる音が聞えます、森の小鳥たちもねぐらを出でゝ清い泉にのどをうろほし、美しい歌を唄つてゐます。もうすつかり明けはなれました、人も追々仕事道具を持つて外に出て行きます。蟬もやかましく鳴き出しました。日がだん〳〵と高くなつて、人々は汗をだら〳〵流し乍ら働いて居ます。貴い勞働の一日が終りますと涼しい風が汗を拂つて日ぐらしが驚いたやうに一齊に鳴き出します。美しい星がきら〳〵と輝き煌々たる月は下界を限なく照し人々は一日の勞苦も忘れ涼しい夕風に吹かれて蛙の聲を聞きながら樂しい夢地をたどります。

○涼み臺

廣島縣　沖元艶子

ゴロリと橫に臥て、出て來い〳〵池の鯉……と無心に歌ふて居た妹の博ちやんは、コッソリ登つた姿を見てキマリ惡げに口の中で小さく歌ひ出した。少時してお兄ちやんはまだ？と淋しい聲で尋ねた「エ、兄さんまだよ水が入らないんでせうヨ……」二人はしばらく默した。四の山を段々照して居た月は此の涼臺を明ろくして庭の桐の葉を黑く浮かして涼味を一層增した。

泣いて哭れる樣な出船の節は……月の光に和して野良唄が聞える妹は蘇生したやうに……兄ちやんが……と叫んだ。野良唄の主の黑影は我家の方に近づいて來る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

入賞

天　福島縣　梅津みや子

古池に木の葉うつれるわが庭に
涼風通ふ夏の夕暮

評　蟬の聲いつしか止みし田舍家の庭の靜けさ見ろ心地して

地　香川縣　高木比佐子

病み臥せる姉を思ひておのづから
手にする鍬もたゆみ勝ちなり

評　病む人を思ひつゞけて心憂く鍬とる事の戀しかるらむ

人　群馬縣　橋本登久子

一心に草とり居ればしとゞにも
汗は流るゝ夏のまひるに

評　一すぢに土に親しむ乙女子の肌を流るゝ汗のたふとさ

賞外

湯あみして里の邊に佇めばさゝ舟一つゆるく流れて　神奈川縣　山下ふみ子

病床に淋しく暮す友の上思ひて更けぬ夏の眞夜中　福島縣　大内さめ

幾日を旅に暮してしのぶなり我か住みなれし古里のそら　三重縣　鈴木靜

つゝましき母子二人のかしわ手に小さき我家の夏立にけり　滋賀縣　田原キト子

茂り合ふ庭の木立の蟬の聲烈しくなりて暑さつのりぬ　京都府　谷岡節子

ダリアの眞紅にもゆる晝どき山のかなたに黑雲のわく　宮城　牟岐あい子

ほの暗き野路わけ行けば愛らしく我足元に野菊匂へる　和歌山縣　荒木小春

朝まだき小川のほとり爽やかに野の幸唄ふ草を刈りつゝ　福島縣　みどり

朝まだき母と畑に働けば踏むくさむらの心地よき哉　東京府　岩保きみゑ

我里は尾花くづ花匂ふなり手折りて行かむ野路の歸りに　神奈川縣　白洲

處女俳壇

賞

夏木立蔭をたのめば蟬の聲　三重縣　けい子

月出でゝ湖上に浮ぶ舟一つ　福島縣　無名女

賞外

朝顔のつぼみ數へる夕べ哉　東京府　きみゑ

夕涼み波追ひかくる姉妹　京都府　谷岡節

夏の夜や夢の絶間の群蛙　三重縣　鈴木靜

花嫁の手際めでたき初田植　香川縣　高木比佐子

香を焚く庵靜かなり夏の月　福島縣　梅津みや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい長くては困ります

○美しい交際によつてお互ひの見た事聞いた事を知らせあふのは最もよい事で私共は交際を廣くして新しい事を見たり聞いたりする事を心掛ければなりません誌友くらぶの盛衰は皆樣の研究心が強いか否かを表しますどうぞお振ひ下さい（記者）

○おなつかしき「記者樣お暑い折からお變りもありませんかお伺ひ致します、私は田舍の一處女で御座います今年六月から愛讀者となりました妾は眞面目な乙女となる事を朝に夕に思ひ暮して居ました所此の有益な御本を友としてより尙一層力強く益眞面目な淸い乙女となる事を心がけて居ます七月號の「結婚前の處女へ」をお讀みになつた皆樣何といふお情け深いお言葉でせう共々に影乍ら感謝いたしませう（東京府下愛讀者）

○先生には暑さのお障りもありませんか諸先生が汗を流してお書き下さる「處女の友」を一生懸命に働いては涼風吹く綠の木陰などで讀みます平和な村に生れた私は幸福です自然の風土にしたしみつゝ樂しい日を送つて居ます（天笠かつ子）

○私は北海道の片田舍に生れた農家の乙女で御座います本年の四月から處女の友の愛讀者になりましたどうぞお仲間入りさせて下さい（北海道余市郡大江村大字砥ノ川　山本トクノ）

○昨今の暑さに諸先生には如何お暮しで御座いますかかげながら御無事をいのります併せて處女の友の榮えん事を……（東京府下吾婦町淸地方田村百合子）

○誌友の皆樣お變りもありませんか私も山間の一隅に住む一少女でございます、それで暑い夏でもそれは涼しくて八月頃まで蟬が鳴いて居ますほんとうに避暑にはいゝ處です皆樣私も處女の友を愛讀しましてからつくぐ田舍に住む幸福を感謝してゐます同村の皆樣もちと投書遊ばせ和歌山の矢野綾子樣島根の森脇操樣不束ながらお交り下さい（三重縣多氣郡大杉谷村久豆鈴木靜）

○酷暑のみぎりおなつかしい中央部の諸先生には如何お暮し遊ばされますかお伺ひいたします私は懸命に働き乍ら涼しい木影に處女の友を讀むのを樂しみとして居ます（長野東筑摩郡五常村瀧澤やよ子）

○松崎先生が處女の友のために御盡し下さいやすさうでほんとにうれしうございます皆樣ごいつしよに處女の友の希望にみちた前途を祝福いたしませう私の病氣は恢復期にのぞんでこの海岸に登り療養して居りますまだいけませんけれど御心配下さる程でも御ざいませんの（宮城牡鹿郡渡ノ波裏町笹原方平岐あい子）

○かれぐ心配して居ました御病氣がお快くなりました由嬉しく存じますお母樣もお心づかひでしたでせうどうぞお後大切に（記者）

○記者先生お暑さ烈しくなりましたお變りはございませんか處女の友早速拜見いたしました私の作歌が活字に表はれましたのは生れて初めてですす嬉しくてなりません、今後も大いに投書します、誌友の姉樣どうぞ御交際下さいませ（群馬縣佐波郡剛志村柿本登久子）

○一回より二回熱心は必ず私共を上達させますどうぞ熱心にお振ひ下さい（記者）

○私は靜かな廣い公園で樂しく暮して居ます學校を出ましてこの優しい情ある處女の友を唯一のお友達としてゐます浮世の荒波に向はんとする我等をお導き下さる先生のお健かにお暮しなされん事をひとへにいのります（島根縣濱村秀野）

○暑さきびしき折柄諸先生には如何お淩ぎ遊ばされますかお伺ひ申し上げます私もお陰樣で日々愉快に過して居ます（群馬縣多野郡神川村近藤みよし）

○記者樣にはお變りもありませんか私も相變らず工場にせつせと働いて居ます昨年迄は何の樂も無く淋しく暮して居りましたが本年一月處女の友を讀み初めてより每號樂しみに待つて居ます、これから誌友くらぶのお仲間入をさせて下さい（岐阜縣加茂郡奧川村笠井絹枝）

○天野先生先日はわざぐ當地方に御出下されそして有益な御話をして頂きまして誠に有難く御禮申します。私は先生のお話を三度聞きました先生私をお知りでせう小高停車場で先生お話をいたしました私うれしくてなりませんでした（福島縣相馬郡小高町高玉貞）

○私も小高で皆樣に御厚意をうけたのが嬉しくてなりません（あまの）

○記者樣始め愛讀者の諸姉樣にはお變りもございませんかお伺ひ申し上げます私も每日處女の友を何よりの友として樂しく働いてゐます愛讀者の皆樣不束者ですがどうぞ御交際を（香川縣三豐郡大野原村大山靜江）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○天野先生八月號でお言葉有りがたうございました失禮ながら誌上で厚く御禮申します宮城の二階堂樣京都の平岡樣お便りうれしく存じました(群馬縣新田郡九合村對比地こう)

○私は六月號よりの處女の友愛讀者です記者樣方のお優しい御指導によりまして歡樂の巷に第一歩を踏み入れました誌友の諸姉樣よろしく御交際を願ひます(東京府下南多摩郡由木村南大澤田中鶴子)

○私は山陰の田舍に住む一處女であります私が處女の友の愛讀者となりましたのは本年の三月でそれ以來無二の友として居ます、今では誌友が非常に殖へたので本當にうれしく思ひます(鳥取縣西伯郡渡村榮谷あや)

○私は田舍に住む乙女でございます本年の二月より愛讀者となりましたそして處女會訓をお守りと致し度いと思ひます(福島縣大沼郡川路村小林ヒデ)

○久しく農繁のために御無沙汰致しました誌上の諸姉樣には如何お過しなされますかお暑い時分でずから御身御大切になさいませ(四國の山里月見草)

○記者樣には御變りもありませんか私は福島縣の片田舍に生れたる一處女で御座います昨年十二月より處女の友の愛讀者と成つて居りましたが此の度父が死亡致しましたため福島縣石城郡海渡村の母の實家に參りました私はこれから自分の力で働いていつまでも處女の友の愛讀者となつてゐたいと思ひます(福島縣石城郡澤渡村水野勝代)

○六月號の乙女のなやみを拜見いたし誠に自分の心をよまれたかとしみ〲と感じましたほんとに先生のお敎へが胸にこたへました(神奈川縣與瀬町白菊)

○天野先生には昨日小高小學校にお出下され有益なるお話を下さいました事をお友達から聞きまして殘念でなりません私は小高處女會の一人で又處女の友の愛讀者で御座いますのに殘念でなりません先生は再びお出下さる事は出來ませんでせうか(福島縣相馬郡福浦村阿部みどり)

○誠に殘念でしたね(あまの)

○私は本年十六歳になりますが處女の友を讀み出してから意地惡の心もなほりました自分が優しくなつたのも處女の友のおかげとよろこんでゐます(廣島縣御調郡河内村字徳永水野カチル)

○私は福島縣安達郡下川崎村の處女會幹事で御座いまして昨年十一月より本書を愛讀して居ますどうぞお仲間入りをさせて下さい(福島縣安達郡杉田村大字北杉田椎津みや子)

○記者樣始め皆樣お變りもありませんか暑中お見舞申し上げます(福島縣郡山市下雪子)

○私は鬼怒川の端の片田舍に住む乙女で四月より愛讀者となりました今後どし〲愛讀者を増す積りです(栃木縣河内郡瑞穗野村大塚タイ)

○記者樣誌友の皆樣御變りもありませんか私は初號より處女の友の愛讀者でありますがお便りは是が初めてであります會訓の強く優しくまじめに働けを一日として忘れた事はありません(香川縣三重郡大野原無名女)

○記者樣どうぞ野の幸の節をお知らせ下さいませんか(島根縣簸川郡瀧分村土江富子)

○壺の暑さを忘れて私は面白く處女の友を讀んでゐます記者樣初め誌友の皆樣暑さの折柄御身を大切に……(島根縣簸川郡足立好美)

○暑中お伺ひ申上げます貴社皆樣御健勝にて誌友の御榮え共々お喜び申します(福島縣耶麻郡宮澤テル)

○宮澤テル樣より美しい繪葉書頂き有難うございました(記者)

○私は昨年實業補習學校を卒業して家事の手傳ひをして居ますどうぞよろしくお願ひ申します以後つとめて文藝にも投書します(淺野たかを)

○御なつかしき先生始め誌友の皆樣暑さのお障りもなくおふろひ遊ばす由お祝ひ申します、八月號にて當地方の郡是製糸工場の事が一寸記載してあつた事をひそかに嬉しく思つてゐます、御誌の御蔭にて遠い北の二階堂樣と御文通の出來た事を厚く厚く御禮申ます(京都府何鹿郡志賀郷村字兩河田谷岡節)

○天野先生には暑さもいとはせ給はず諸處へ御越し御講演下され種々の御話を樂しい「處女の友」にてお聞せ下さいまして誠に喜んでお待ち申して居ります八月號の日々の心がけそれから友情に熱き涙を流して通學時代の友を思ひました(福島縣安達郡戸澤村大内さめ)

○八月號の友情はほんとに誰にもあり勝ちの事で御座いますわれ、靖代樣がお氣の毒でたまりません早く來月號が待たれます、松江の米田つる子樣おなつかしう御座います(鳥取縣西伯郡春日村大字一部小原しげ子)

○暑い〱といつて居る中に早や秋風が訪れて參りやさしい七草も咲き初めました、沖元艶子樣み言葉ありがたう存じます、南國の御樣子時折お知らせ下さい尙山根ふさの樣、中川とら子樣竹腰よさ枝樣、田村百合子樣ます〱御ふろひなさいませ(仙台二階堂たかを)

○私は片田舍の一處女で御座います三月より會が開かれましたが優しい處女の友を拜見致すやうになつてからは愉快で毎日樂しい日を送つて居ます(岐阜縣武儀郡上麻生村萬屋林たゞ枝)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

○暑い暑いとこぼした私共の肌に冷りと通ふ朝風が秋だと語つてゐます、勞働にも修養にも最も適した貴い秋の好時節は短いのです、一年中の勉强の好時季を無駄に過さぬやうに、寸暇を惜んでつゞれさす洗濯や、燈火親しむ讀書を怠りなく野の幸を味ひながら立派な田舍の貴婦人となつて下さい。

○八月七日午後六時より處女會中央部で理事會が開かれました、山脇、吉岡、甫守の三女史、下村、高野、福島、田所、天野等理事出席せられ、種々協議をせられました。

○福島縣安達郡杉田村靑年革新團員大內虎雄(十九)氏は處女會に金壹圓を寄附して下さいました、御厚意を深く感謝します。

○愛媛縣喜多郡河邊村、東壽子氏より坂本處女會報を送つて下さいました、誠に面白く拜見しました。

○福島縣伊達郡富田村福澤村處女會創立、岡山縣上房郡上有漢處女會創立に就て幹部のお方からお知らせ下さいました。處々に處女會が設けられこんな嬉しい事はありません。

○廣島縣沼隈郡能登原處女會から選奬紀念繪葉書を送つて下さいました、見事に出來てゐます。

○クラブ齒磨、クラブ白粉、カテイ石鹼の本舖中山太陽堂の店員一同は八月三日出發富士登山をされて五日處女會中央部へ左の電報を寄せられました。

フジノゼツテフヨリハルカニキシヨノゴリウセイチイノル

○八月廿日より九月三日迄大分縣日田郡の講習會に天野理事が出席されます。(ひろの)

八月號考へ物の答

八月號の考へ物「二十斤の野菜」これは十を二ツ列べて其の下に斤と書けば芹となります澤山の解答者中より抽籤にて左の方々にあたりました。

神奈川縣津久井郡長谷川菊野、東京市本所鈴木とめ、福島縣大沼郡靑柳やなぎ、長野縣下伊那郡牛山みなゑ、群馬縣勢多郡淸水かれ、北海道十勝國篠島しげ、岐阜縣惠那郡安田貴稻、靜岡縣庵原郡片平乙蒜、宮城縣本吉郡男澤ともよ、長崎縣西彼杵郡鰐口エス、福島縣南會津郡平野フミノ、熊本縣阿蘇郡肥後ツヤ、佐賀縣神崎郡久間ヒサノ、福岡縣築上郡會田滿枝、富山縣上新川郡高見玉枝、新潟縣古志郡佐藤芳子、京都府南桑田郡長澤シツ子、愛知縣寶飯郡森コト、滋賀縣高島郡村越アツミ、山口縣大島郡田中文子、岡山縣英田郡石原ツルヨ

考へ物新題

○ラムネに鋼を盛れば平家の大將なり

答はハガキに限ろ。本郷元町二丁目處女の友發行所宛のこと。答の外の記事はかゝぬ事。

毎月一回一日發行

冊數	定價	郵稅
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

○註文はすべて前金のこと
○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用の時は必らず一割增のこと
○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正九年八月二十九日印刷
大正九年九月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行人 印刷人 田所楠猪
編輯人 天野藤男
東京市神田區小川町三十六
印刷所 成巧社印刷所

東京市麹町區紀尾井町三番地
處女會中央部

發行所 東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌 東京堂、北隆館、至誠堂、東海堂、良明堂、上田屋 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

前共立女子職業學校教師 遠藤錠子 高田久子共著

續 裁縫おさいく物（おもちや集）

和裝菊版全一冊

定價 金壹圓七拾錢

郵税金十二錢

本書は家庭に於ける小ぎれ節約の利用方便として有益且つ興味あるおもちやの製作を娯のうちに研究し得る新著にして説明は簡易平明製作の詳細を會得する様に力め艶麗なる原色圖と完全なる型紙を附しあれば居ながらにして趣味ある實物を製作し得らる先づ一本を購ふて試みらるべし。

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

裁縫おさいく物

第三十五版 和裝菊版全一冊 金一圓八十錢 郵税金十二錢

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

續裁縫おさいく物

第十七版 和裝菊版全一冊 金二圓二十錢 郵税金十二錢

東京市日本橋角 **大倉書店** 振替東京 二三八番

青年圖書

大久保四洲著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
=送料四錢=

青年團員手牒

青年團員必携の信用状▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂
定價拾錢=送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲=▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲
定價五錢=送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易
陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢=送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田稔新著
平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢=送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著
青年の娯樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢=送料六錢

地方青年の教養

內務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員教養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究舞臺
修養、研究、向上娯樂の資料、各團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵税一錢、半年分前金九十錢一ケ年分前金一圓七十錢

東京市麴町區永田町一丁目
帝國青年發行所
振替口座東京二一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

創刊十五年 地方振興 民力涵養の機關

斯民

九月號 ■ 一部 卅錢 一年 三圓六十錢

■ 獨逸に於ける戰後の食糧政策……(獨逸食糧大臣演說要領)

■ 社會運動としての國史教育……三上文學士

■ 歐米視察所感 中谷政一

■ 新講談 油島千本松 天野雄彦

■ 危機に瀕せる米國の教育……山田內務省囑託

■ 鄉土文明の發揮と地方改良……天野藤男

■ 山本農園と山內園藝場……村田宇一郎

■ 獨逸の社會改造 東根四郎

■ 農業勞働に就て 橋本博士

■ 優良自治體の建設……牧野虎次

■ 全國町村長會彙報……

■ 國勢調査 天岡直嘉

■ 都窪郡の三名物……柳田良雄

中央報德會編纂

思想の動搖と民力の涵養

(最新刊) 定價五拾錢 送料四錢

內容一班

一、民心の歸嚮統一……法博 一木喜德郎

二、思想の動搖に就て……文博 澤柳政太郎

三、現代思想と立國の大本……日南 福本誠

四、民力涵養に就て……山崎延吉

近藤行太郎 今野拓民 合著

選奬せる[illegible]

(最新刊) 定價二圓五十錢 送料十錢

著者は多年內務省市町村課の當局者として、全國市町村の實狀に通ずる事恰も嚢中に物を探るが如く、其の長短優劣一として知悉せざる所なし。隨て全國町村の現狀に就て深く憂慮する所あり內務省選奬の優良町村に就き其の選奬さるゝに至りし眞因を究め之を世に闡明して、未だ選奬さるゝに至らざる町村に對し、絕好の資料を提供せんことを期し、繁劇なる公務の餘暇を以て奮勵努力此に本書を成せり。されば自治の當局者は勿論地方有志者に取りては、眞に座右の寶典と稱すべき良書なり。敢て江湖に推薦す。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

賜天覽台覽

◉好評六版◉

指導經營研究實績

青年團處女會

天野藤男著

內務文部兩大臣其他序

定價二圓五十錢
送料十二錢

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目
振替東京三三三〇〇番

丙辰出版社

內容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人斯華會
東京神田猿樂町三

本月號出來

內務省囑託
天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢
送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町
丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

キリン縫糸

美の世界を超越せる
清き中秋の名月!!

有らゆる縫糸界を超越して
雄飛躍進しつゝある
キリン縫糸!!

他に比類のない特質は……

- 實用向贈答用として申分なし
- 上等の棉花で紡いでありますから引力が強く
- 正紺上晒ですし且シルケット掛瓦斯焼糸ですから
- 縫ひスベリ針の目通り非常によし
- 又從來の縫糸より大繰一繰にて二百六十四尺長し
- 殊に當社獨特の玉卷(九十五碼卷—單衣三枚縫分)(六十五碼卷—綿入一枚縫分)の如きは大好評なり

全國到る處の呉服店、糸店、雜貨店、文房具店、荒物店等に在り、ハガキにて御申越次第見本進呈

東亞綿絲工業株式會社

日本橋堀江町

電話浪花長二八九二番
長四五四八番
振替口座東京三八九九番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年八月二十八日印刷納本
大正九年九月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部
東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所